

市 民 交 流 課

出会い・結婚支援関係 (款) 2 . 総務費(項) 1 . 総務管理費(目) 7 . 企画費

「いせ出会い支援センター」を拠点に、結婚を望む本人や家族からの相談対応、出会いの場となる婚活イベントの開催及び情報提供を行い、結婚を希望する人が結婚できる地域社会の実現を目指した。

1 いせ出会い支援センター運営事業

(1) 業務委託

委託業務名	委託期間	委託金額	委託業者
いせ出会い支援センター運営にかかる業務委託	自 6. 4. 1 至 7. 3. 31	円 9,683,300	株式会社デルタスタジオ

(2) 利用者件数

性別	来所	電話	メール	相談	チラシ	計
男性	639 件	239 件	268 件	233 件	784 件	
女性	604	83	109	101		
計	1,243	322	377	334	784	3,060

(3) 婚活イベントの開催

市内又は近隣市町に在住・在勤している独身男女及び伊勢市に興味のある独身男女を対象に、出会いイベントを開催した。

開催日	内 容	参加人数	開催場所
6. 6. 2	「夏の出会い応援交流会」 第1部 25歳～35歳、第2部 36歳～45歳の2部制 1対1トークタイム、投票等	40 人	県営サンアリーナ レセプションルーム
6. 11. 24	「秋の出会い応援交流会」 第1部 25歳～32歳、第2部 32歳～39歳の2部制 1対1トークタイム、カードゲーム、投票等	35	生涯学習センター いせトピア 3階研修室
7. 2. 2	「冬の出会い応援交流会」 第1部 25歳～34歳、第2部 30歳～39歳の2部制 1対1トークタイム、投票等	36	県営サンアリーナ レセプションルーム

(4) 恋活マッチングサポート

利用者が登録プロフィールを閲覧し、趣味や結婚観、休日の過ごし方等価値観が合う方と顔合わせを行うことをサポートし、出会いの機会を提供した。

・登録者数 79人

- ・ 閲 覧 者 数 159 人
- ・ 引 き 合 わ せ 数 39 組

(5) 企 業 の 結 婚 支 援 促 進 事 業

市内及び定住自立圏域内市町に事業所を置く企業に、従業員の結婚を応援し、働きやすい職場環境づくりに取り組んでいただくよう、いせ若者応援ネットワーク「いせむすび」への登録を促進した。

登録企業数 209 社 (7 . 3 . 31 現 在)

(6) 希 望 を 叶 え る ラ イ フ プ ラ ン 講 義 の 開 催

皇學館大学の協力もと、大学生が伊勢志摩地域で仕事、結婚、子育ての希望を叶える地域づくりの必要性について講義を行った。

- ・ 開 催 日 令 和 6 年 10 月 25 日 (金)
- ・ 場 所 皇 學 館 大 学
- ・ 講 師 株 式 会 社 デ ル タ ス タ ジ オ 代 表 取 締 役 若 林 辰 也 氏
- ・ 参 加 人 数 大 学 生 124 人
- ・ 内 容 伊 勢 志 摩 定 住 自 立 圏 共 生 学
少 子 化 の 進 行 、 未 婚 化 ・ 晩 婚 化 、 独 身 者 を 取 り 巻 く 環 境 ・ 状 況
い せ 出 会 い 支 援 セ ン タ ー の 取 り 組 み 、 自 身 の 希 望 が 叶 う ラ イ フ プ ラ ン づ く り 、 働 き た い 会 社 、 働 き 続 け ら れ る 会 社 と は

2 伊 勢 市 版 婚 姻 届 等 の 提 供

少子化対策及びシティプロモーションの一環として、株式会社リクルートの専用サイト上で地域の生活情報や観光情報の発信及び伊勢市独自の婚姻届・出生届をダウンロードできるようにし、結婚・出産のイメージアップを図った。

- ・ ダ ウ ン ロ ー ド 数
婚 姻 届 626 件
出 生 届 86 件

男 女 共 同 参 画 関 係 (款) 2 . 総 務 費 (項) 1 . 総 務 管 理 費 (目) 8 . 男 女 共 同 参 画 推 進 費

1 男 女 共 同 参 画 推 進 事 業

「伊勢市男女共同参画都市宣言」「伊勢市男女共同参画推進条例」の理念を広く市民に周知するとともに、「第4次伊勢市男女共同参画基本計画」の実現に向け、各種の取組を行った。主に市民向けの啓発事業の企画運営は、市民団体「NPO男女共同参画れいんぼう伊勢」に委託した。

(1) パ ー ト ナ ー の 日 の 啓 発

男女がお互いを思いやる日として条例で定めた「パートナーの日 (8 月 17 日)」を広く市民に周知するため、啓発事業を実施した。

実施日	内 容	開催場所
6. 8. 5 ~ 6. 8.19	懸垂幕の掲揚	伊勢市役所本館
	パネル展示	伊勢市役所本館 1 階 市民ホール
6. 8. 1 ~ 6. 8.31	C A T V ナレーション放送による周知	-
6. 8. 4	浜田敬子講演会「一歩踏み出せば女性も地域もかわる！ よりよいパートナーシップを築く」 ・参加人数 189 人	ハートプラザみその 多目的ホール

(2) 三重県内男女共同参画連携映画祭の開催

男女共同参画に関する機運の醸成や意識啓発を効果的に行うことを目的に、毎年、男女共同参画週間を中心に開催している。令和 6 年度は、本市を含めた県内 17 会場で開催した。

開催日	内 容	参加人数	開催場所
6. 6.30	映画「オレンジ・ランプ」上映会	223 人	ハートプラザ みその 多目的ホール

(3) その他男女共同参画に関する啓発

開催日	内 容	参加人数	開催場所
6. 4.20 ~ 6. 7. 5	第 4 回男女共同参画川柳 (テーマ) パートナーの日	98 人 (253 句)	-
6. 6.21 ~ 6. 6.28	男女共同参画週間におけるパネル展示等	-	伊勢市役所 本館 1 階 市民ホール
6.11.11 ~ 6.11.25	「女性に対する暴力をなくす運動」に関する パネル展示等	-	伊勢市役所 本館 1 階 市民ホール
6.12.21	親子映画祭「FLY!」上映会	215	生涯学習センター いせトピア 多目的ホール
7. 3. 8	マジックパパの子ども「生きる力」をはぐく む子育て講座	33	生涯学習センター いせトピア 研修室

2 男女共同参画に関する啓発記事の掲載

男女共同参画に関する意識啓発のため、「広報いせ」を活用し、公募市民の企画編集による啓発記事「めざそや！共同参画」や、男女共同参画に関するロールモデルへのインタビュー記事「伊勢の輝くひと」等を掲載した。

発行日	内 容
6 月 1 日号	考えてみようジェンダー平等 (男女共同参画週間の啓発)

8月15日号	8月17日は「パートナーの日」(男女共同参画川柳受賞作決定)
11月15日号	女性に対する暴力をなくす運動の啓発
2月15日号	めざそや！共同参画「『パートナーの日啓発事業 浜田敬子講演会』の紹介」
3月1日号	伊勢の輝くひと 中村 美穂氏(パン屋 麦、mike)
3月15日号	めざそや！共同参画「アンコンシャス・バイアスって何？」

3 女性活躍推進事業

女性のための Web マーケティング基礎講座の開催

働く女性や就職を考えている女性を対象に、オンラインでの就業や業務の効率化に必要なデジタルスキルを身につけることによる女性の就労やキャリアアップ支援を目的としたセミナー(全2回)を開催した。また、参加希望者と、社内のDX化に興味がある地元企業を対象としたセミナーを開催した。

講師 株式会社Eプレゼンス 代表取締役 川北 睦子氏

開催日	テーマ	参加人数
6.10.16	・ Grow with Google デジタル向上セミナー「はじめてのデジタルマーケティング」 ・ 女性のための Web マーケティング基礎講座・事前説明会	22人
6.11.16	・ Web マーケティング基礎知識、先輩の話	15
6.12.15	・ ホームページ制作実践 成果発表&交流	12

4 ワークライフバランス推進事業

パパ&ママのための『夫婦会議』の始め方講座の開催

将来的に子育てを見据えた夫婦や、妊娠・出産・育児期の夫婦が家庭内のジェンダーギャップを解消し、夫婦それぞれが互いを個人として尊重し、協力してワークライフバランスを実現できるよう、「夫婦の対話」をサポートすることを目的としたセミナーを開催した。

講師 Logista株式会社 共同代表 長廣 百合子氏・長廣 遥氏

開催日	内容	参加人数
6.11.10	「夫婦会議」とは・どこまで知ってる？産前産後のリアル・自分の本音と向き合うワーク	34人

5 企業に向けた啓発

企業における男女共同参画の推進のため、企業訪問を実施した。また、事業者等における男女共同参画推進の取組を促進するため、積極的に取り組んでいる事業者等を募集した。表彰制度の周知については、皇學館大学生と連携して行った。

(1) 企業訪問

実施日	訪問先	内 容
6.11. 6 ~ 6.11.19	有限会社あびや 他7社	働きやすい職場づくり、女性管理職登用等の啓発

(2) 男女共同参画推進事業者等の表彰

- ・女性の活躍推進「きらり」賞 該当事業者なし（応募事業者 なし）
- ・仕事と生活の調和実践賞 株式会社ウェルフェア三重（応募事業者 1社）

6 男女共同参画審議会の開催

男女共同参画に関する施策の実施状況等に対して意見を徴するため開催した。

開催日	内 容	出席委員数
6. 7.25	・令和5年度実施状況報告書（案）について ・男女共同参画推進事業者等表彰選考委員会の設置について	15/16 人
7. 1.23	・令和6年度実施状況報告書（案）について ・男女共同参画推進事業者等表彰について（報告） ・困難な問題を抱える女性への支援に関する法律について（報告）	15/16

7 DV等被害者にかかる事務

（申出件数）

内 容	新 規	解 除	変 更	継 続
件 数	24 件	22 件	11 件	31 件

市民交流関係 （款）2．総務費（項）1．総務管理費（目）17．市民交流推進費

1 市民活動促進事業

(1) いせ市民活動センター運営業務

平成16年4月にいせ市民活動センターを開設し、同年7月から、指定管理者制度を導入して公設民営により運営している。

指定管理者 特定非営利活動法人いせコンビニネット

指定管理料 17,500,000円（年額）

指定管理期間 令和6年4月1日～令和7年3月31日（1年間）

- ・市民活動の活性化を図るため市民活動に関する各種相談対応（相談件数69件）。
- ・市民活動に関する情報を、センター内に設置する情報コーナーや、ホームページ、SNS、情報誌「パルティ」（年3回発行）など様々な媒体を通じ発信。
- ・市民活動を促進させるため、様々な市民団体等が交流・情報交換する機会を提供

開催日	内 容	参加状況
6. 7. 7	第8回「ダンスワールド in 伊勢」	300人
	第30回「ミュージックコミュニケーション」	60人

6. 8. 4	令和6年度「登録団体交流会」(オンライン)	9 団体
6. 9.14	防災講演会「能登半島地震 現地からの報告」	61 人
6.11.16	第13回いせ市民活動フェスティバル	43 団体 600 人
6.12.21	第31回「ミュージックコミュニケーション」	50 人

(2) いせ市民活動センター管理業務

施設利用の登録、使用許可、施設・設備及び機器の維持管理を行った。

(施設稼働状況)

	北 館				利用者数	南 館	
	平均稼働率					平均稼働率	利用者数
	多目的ホール	A会議室	B会議室	1Fホール			
5. 4. 1 ～ 6. 3.31	% 26.0	% 40.8	% 40.9	% 30.7	人 24,796	% 19.1	人 9,501
6. 4. 1 ～ 7. 3.31	14.8	30.9	30.0	14.8	12,873	16.7	9,518

平均稼働率・・・稼働実績時間数/(稼働可能時間(11時間)×稼働可能日数×100)

(登録団体数)

基準日	3. 3.31	4. 3.31	5. 3.31	6. 3.31	7. 3.31
登録団体数	180	174	169	167	164

(3) 市民公益活動促進委員会

いせ市民活動センターの施設運営にとどまらず、広く市の市民公益活動について有識者による市民公益活動促進について調査審議した。

開催日	主な内容	備考
6. 8. 2	令和5年度いせ市民活動センターの管理運営状況について	オンライン開催
7. 2.26	令和6年度いせ市民活動センター中間報告について	オンライン開催

2 いせ市民活動センター改修事業

(1) 委託

令和7年度に施設の一部を(仮称)伊勢市郷土資料館へ転用し、施設全体を改修するため、実施に向けた設計を行った。

施行場所	委託名	委託概要	金額	着工	完工
岩淵1丁目地	(注) いせ市民活動センター改修工事設計業務委託	設計業務一式	円 10,010,000	6. 8. 5	7. 3.11

(注) 営繕課施行

(2) 執行委任分

所 属	施 行 場 所	委 託 名	委 託 概 要	金 額
文化政策課	岩 淵 1 丁 目 地 内	いせ市民活用センター -アスベスト含有調 査業務委託	アスベスト含有調査一式	円 401,500

3 伊勢のまつり開催事業

市民が「見て」、「参加して」楽しめる行事として、団体の代表者等からなる実行委員会により企画・運営を行った。

日 時	令和6年10月12日(土)午前9時40分～午後9時 令和6年10月13日(日)午前9時40分～午後5時
場 所	県道鳥羽松阪線(宮町交差点)～伊勢市駅周辺
内 容	・幼稚園児のマーチング、小学生の鼓笛等のパレード、お木曳車の運行 ・ねぶた飾り車の運行、楽器演奏、よさこい、ダンス等のパフォーマンス ・市内団体、事業者を中心とした展示、販売ブース
来場者数	18万人 12日:10万人 13日:8万人
参 加 者	・パレード 延べ23団体 約2,600人 ・イベント 延べ39団体 約1,100人 ・出展・出店 延べ152団体 約1,000人
広 報	・ポスター1,000枚 パンフレット 20,000部 作成 ・伊勢市公式HP、SNS、広報いせ及び行政チャンネルにて情報発信

4 伊勢市矢持会館管理事業

農林漁業体験実習館を、平成23年4月1日から名称を変更し、指定管理者制度を導入して公設民営の集会施設として運営している。地域住民のふれあいの場に供し、交流活動を通じた地域づくりの推進を図っている。

指 定 管 理 者	矢持町下村区
指 定 管 理 料	250,000円(年額)
指 定 管 理 期 間	令和3年4月1日～令和8年3月31日(5年間)
利 用 者 数	885人(令和6年度)

コミュニティセンター関係 (款)2.総務費(項)1.総務管理費(目)17.市民交流推進費

1 地区コミュニティセンター維持管理

地域社会づくりを推進するための地域活動の場に供するとともに、市民の生活文化の向上及び福祉の増進を図るため、地区コミュニティセンターを設置している。地域活動のための場として地域住民が貸室及び図書分室を利用している。

(1) 工事

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
黒瀬町 地内	(注) 浜郷支所空調機取替工事	空調機取替一式	円 1,584,000	6. 5.17	6. 6.28
村松町 地内 ほか	北浜地区コミュニティセ ンターほか階段塗装工事	塗装工事一式	1,265,000	6. 5.29	6. 7.12
神社港 地内 ほか	(注) 神社地区コミュニティセ ンターほか照明改修工事	照明設備改修 一式	4,136,000	6.12.24	7. 3. 6
前山町 地内	宮本地区コミュニティセ ンター南側駐車場補修工 事	擁壁補修工一式	1,045,000	7. 2. 6	7. 3.14
大湊町 地内	大湊地区コミュニティセ ンター区画線等設置工 事	区画線等設置 一式	99,000	7. 3.17	7. 3.20
計	5件	-	8,129,000	-	-

(注) 営繕課施行

(2) 修繕

沼木支所雨漏り修繕工事 外 15件 1,041,700円

(3) コミュニティセンター使用状況

ア 神社地区コミュニティセンター(みなとふれあいセンターに併設)

図書貸出状況	
貸出人数	貸出冊数
人 542	冊 1,141

イ 大湊地区コミュニティセンター

会議室利用状況				図書貸出状況	
会議室 1	会議室 2	計	利用人数	貸出人数	貸出冊数
件 29	件 8	件 37	人 394	人 1,541	冊 2,724

ウ 浜郷地区コミュニティセンター

会議室利用状況				図書貸出状況	
会議室 1	会議室 2	計	利用人数	貸出人数	貸出冊数
件 149	件 7	件 156	人 1,902	人 714	冊 1,719

エ 宮本地区コミュニティセンター

会議室利用状況				図書貸出状況	
会議室 1	会議室 2	計	利用人数	貸出人数	貸出冊数
件 160	件 113	件 273	人 3,334	人 253	冊 574

オ 豊浜地区コミュニティセンター

会議室利用状況				図書貸出状況	
会議室 1	会議室 2	計	利用人数	貸出人数	貸出冊数
99 件	56 件	155 件	1,094 人	292 人	647 冊

カ 北浜地区コミュニティセンター

会議室利用状況				図書貸出状況	
会議室 1	会議室 2	計	利用人数	貸出人数	貸出冊数
173 件	14 件	187 件	2,122 人	206 人	393 冊

キ 城田地区コミュニティセンター

会議室利用状況				図書貸出状況	
会議室 1	会議室 2	計	利用人数	貸出人数	貸出冊数
113 件	59 件	172 件	3,147 人	249 人	524 冊

ク 沼木地区コミュニティセンター・伊勢市沼木農村環境改善センター

会議室利用状況				図書貸出状況	
会議室	生活研修室	計	利用人数	貸出人数	貸出冊数
21 件	28 件	49 件	632 人	122 人	257 冊

2 支所の組織・機能のあり方の検討

伊勢市支所の組織・機能のあり方検討委員会において、支所機能再編に伴い著しいサービス低下を招かないよう、支所業務の代替措置として外部委託等の方向性を検討した。

地域自治推進関係 (款) 2 . 総務費 (項) 1 . 総務管理費 (目) 18 . 地域自治推進費

1 地域自治推進事業

(1) ふるさと未来づくりの取組

平成 27 年度から本格稼働したふるさと未来づくり制度を推進し、地域自治の実現を図った。まちづくり協議会において、地域住民が地域課題を見つけ出し、課題解決に向けて取り組んだ。

- ・東大淀小学校児童の学力向上と居場所づくりのため、地域との交流もできる寺子屋塾を開塾した。【東大淀地区まちづくり協議会】
- ・岐阜工業高等専門学校と共に大湊地区の避難ハザードマップの作成と津波避難訓練を行った。【大湊町未来づくり委員会】 等

(2) 広報活動

ふるさと未来づくりの周知・啓発を図るため、三重テレビの情報番組に出演し、まちづくりに取り組む思いや活動内容を発信するとともに、広報いせ令和 7 年 4 月 1 日号に特集記事を掲載し、まちづくり協議会の活動に取り組む人の思いや活動内容などを発信した。

また、まちづくりの必要性やまちづくり協議会の活動事例について紹介するリーフレットを配布するとともに、伊勢市ホームページに各まちづくり協議会のホームページへのリンクを掲載し、活動を紹介した。

(3) 講演会、意見交換会等の開催

ア まちづくり講演会の開催

ふるさと未来づくりの取組への理解を深め、地域の活動をより一層発展させるため、市民を対象に講演会を開催した。

- ・開催日 令和6年11月2日(土)
- ・場所 生涯学習センターいせトピア
- ・内容 誰もが楽しめるまちづくりへの一歩
- ・講師 皇學館大学 准教授 池山 敦 氏
- ・参加者 210人

イ ふるさと未来づくり意見交換会の開催

23地区のまちづくり協議会が集まり、抱えている課題等について話し合う場として、意見交換会を開催した。

開催日	場所	内容	参加者
6. 9. 4	御園公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度第1回ふるさと未来づくり推進委員会の結果について ・重点活動方針について ・市との意見交換 ・まちづくり協議会意見交換 	42人 (会場35人、オンライン7人)
7. 2. 19	ハートプラザみその	<ul style="list-style-type: none"> ・臨時特例事業の成果発表 	54人 (会場47人、オンライン7人)

ウ 市長と地域の懇談会

市民に市政運営に対して理解を深めていただき、また、市民の声を市政運営に反映させるため、まちづくり協議会区域ごとに懇談会を開催した。

- ・開催期間 令和6年6月5日(水)～令和6年10月18日(金)
- ・開催回数 23回
- ・参加者数 473人

(4) まちづくり協議会への財政支援

まちづくり協議会が実施する事務事業の財源として、ふるさと未来づくり資金を交付した。

また、まちづくり協議会が実施する防災機能強化等地域課題解決のための事業に対し、活動事業費(臨時特例分)を交付した。

交付金額：194,339,330円

<事務運営費・活動事業費(世帯割額除く)> 81,509,317円

- ・事務運営費(基本額) 39,660,061円(23団体)

- ・事務運営費（家賃補助分） 5,400,000円（10団体）
- ・事務運営費（集落支援員分） 9,100,000円（16団体）
- ・活動事業費（基本額） 22,665,345円（23団体）
- ・活動事業費（臨時特例分） 4,683,911円（8団体、13件）
- <一括交付金化事業> 112,830,013円（19団体）
- ・活動事業費（世帯割額） 28,478,613円
- ・広報紙配布等協力金（市の広報紙の配布協力金） 82,281,400円
- ・広報紙配布等協力金（市が実施する廃棄物の減量等に関する啓発事業等に係る協力金） 2,070,000円

（５）地域を支える人材確保の推進

ア まちづくり協議会における大学生の実習受入

令和6年度から皇學館大学のカリキュラム「伊勢志摩共生学実習」に参画し、まちづくり協議会で地域課題解決の活動体験を希望する大学生の受け入れを行い、将来の地域活動を担う人材の育成につなげた。

- ・受入学生数 6人
- ・概要 6地区9活動

イ 協働に向けた話し合いワークショップ

まちづくり協議会を対象に、日頃から行っていた話合いの意義や役割について改めて考え、協働による組織運営と事業実施につなげる機会として、合意形成に向けた円滑な話し合いについてワークショップを開催した。

- ・開催日 令和7年1月15日（水）
- ・講師 皇學館大学 准教授 池山 敦 氏
- ・参加者 まちづくり協議会 23人

（６）地域活動に関わる市職員の育成

人口減少や少子高齢化、生活様式の変化や価値観の多様化等に伴い、地域活動や市民活動の担い手不足が顕著になっていることから、地域を支える人材の確保と育成を推進するため、各所属が主体的に取り組む関係事業の進行管理を行うとともに、市の将来を支える人材の育成に取り組んだ。

ア 地区担当職員会議の開催

新任地区担当職員向けにふるさと未来づくり制度について説明を行った。

- ・開催日 令和6年4月24日（水）
- ・内容 ふるさと未来づくり制度の概要、ふるさと未来づくり資金等について
- ・参加者 19人

<地区担当職員>

部課長級職員 90人

(内訳：早修、大湊、佐八、豊浜東、北浜、四郷、小俣、明野は各3人、進修、修道、明倫、厚生、有緝、中島、神社、浜郷、宮山、豊浜西、東大淀、城田、今一色、御園は各4人、沼木、二見は各5人)

イ 職員向け研修の開催

ふるさと未来づくりに対する理解をさらに深めるため、新規採用職員や人材育成カレッジ講座として一般職員を対象として研修を開催した。

- ・開催日 (新採)令和6年4月19日(金)
(一般)令和6年8月22日(木)、11月19日(火)
- ・内容 ふるさと未来づくり制度の概要、まちづくり協議会の取組、地域を支える人材の確保等について
- ・参加者 計60人

ウ 地域活動ファシリテーター研修

地域活動者との協議・調整等を通じた合意形成やコミュニケーションを支援(ファシリテーション)する意識・スキルの向上を目的として、研修を開催した。

- ・開催日 令和6年10月21日(月)、10月30日(水)
- ・内容 地域活動者との協議・調整等を通じた合意形成やコミュニケーションの支援(ファシリテーション)について
- ・講師 皇學館大学 准教授 池山 敦 氏
- ・参加者 中堅職員等延べ36人

(7) ふるさと未来づくり推進委員会

ふるさと未来づくりの取組を推進するため、重要事項の調査審議を行う場として推進委員会を開催した。

- ・推進委員 5人

開催日	内容
6.8.8	・令和5年度まちづくり協議会の活動報告について ・令和6年度まちづくり協議会の進捗状況について ・活動事業費((仮)臨時特例分)の見直し(令和7年度~)について
6.10.22	・活動事業費(臨時特例分)の見直し(令和7年度~)について

(8) 市民活動補償制度

ふるさと未来づくりでの活動を含め、市民が安心して活動を行えるよう、活動拠点が伊勢市にある市民団体等の公益活動中に起きた傷害事故や賠償責任事故を損害保険により、補償を行った。

- ・保険の名称 伊勢市市民活動補償制度保険
- ・保険期間 令和6年6月1日午後4時から令和7年6月1日午後4時まで

- ・契約金額 1,194,700 円
- ・対象事故 傷害事故、賠償責任事故、特定疾病事故、一般疾病事故
- ・適用件数 13 件（傷害補償 13 件）（令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日に発生した事故）

2 いせミライプロジェクト推進事業

地域活動人口の増加につなげるため、高校生が自らまちづくり活動を行う事業を実施した。

- ・対象 市内在住または市内の高校に通う高校生 16 人
- ・協力 伊勢市社会福祉協議会、いせ市民活動センター

（1）親子連れの方がゆっくり楽しめる場所づくり

伊勢市駅前商店街で実施された「まちなかウォークブル社会実験」において、親子がゆっくり楽しめる場所として、子どもの物づくり体験イベント「ミラプロわくわく工房」を開催した。

- ・実施日 令和 6 年 10 月 12 日（土）、13 日（日）

（2）食を通じた伊勢の魅力の発信

特産物のいちごを使用したスイーツ「とぶさたて伊勢ミライパルフェ」を企画提案し、協力事業所が商品化及び販売した。

（3）外国人観光客への情報発信

外国人観光客向けのバスの乗り方動画を制作し、市 YouTube で公開した。

自治会関係 （款）2．総務費（項）1．総務管理費（目）18．地域自治推進費

1 区長謝礼事業

市内 174 自治会の活動について、行政委員等の候補者推薦業務等、依頼事項に対する謝礼を交付した。

報償費総額 7,440,000 円

2 自治会集会所建設等事業補助金

地域のコミュニティ活動の場を確保することや自治会の負担軽減、集会所の長寿命化のため、自治会等が活動拠点として所有し、維持管理する自治会集会所の建設、修繕、バリアフリー改修、空調設備整備及び解体に要する費用の一部を補助した。（交付自治会数 8 自治会）

補助種別	自治会名	補助金額
建設	津村町自治会	7,000,000 円
建設	伊勢市徳川山町会	7,000,000
解体		1,308,000
修繕	山田原区	660,000
	小川町町内会	1,000,000

バリアフリー改修	一之木町会	193,000
	松倉自治区	874,000
	森区自治会	984,000
空調設備整備	勢田町町内会	202,000
合 計	8 自治会	19,221,000

3 コミュニティ助成事業

(一財)自治総合センターが、宝くじの社会貢献広報事業費として受け入れる受託事業収入を財源とした事業で、コミュニティ活動の健全育成を図り、コミュニティ組織である自治会等にコミュニティ助成事業補助金を交付した。

団 体 名	補助金額	事業内容
檜原町会自治会	2,400,000	パソコン他コミュニティ活動備品の整備
通町自治会	1,800,000	テーブル他コミュニティ活動備品の整備
伊勢市徳川山町会	15,000,000	コミュニティセンターの建設
津村町自治会	15,000,000	コミュニティセンターの建設
中島学区まちづくり協議会	2,000,000	防災機材・備品の整備
計	36,200,000	

4 自治会活動補助事業

(1) 地区振興助成金事業

市内 54 の地区の円滑な運営と健全な自治会活動を推進するため、助成金を交付した。

	自治会数	対象世帯数	地区振興助成金		
			平 等 割	世 帯 割	計
本庁管内	10	1,485	500,000	519,750	1,019,750
支所管内	15	3,372	750,000	1,180,200	1,930,200
小俣総合支所管内	29	8,900	1,450,000	3,115,000	4,565,000
計	54	13,757	2,700,000	4,814,950	7,514,950

(2) 元気なまちづくり協働事業

市と自治会が協働して地域社会の活性化を図るため、自治会が各地域において主体的に取り組む事業に対して、補助金を交付した。

・対象自治会数 54 自治会

- ・ 交付自治会数 34 自治会
- ・ 交付金額 1,702,000 円
- ・ 対象事業

事業区分	件数
ア 地域に根ざした伝統文化の継承事業	2 件
イ 地域の特性を生かした地域おこし事業	1
ウ 地域内の清掃美化等の環境保全事業	19
エ 補導や啓発、巡視活動等の青少年育成事業	0
オ 訓練や啓発、巡視活動等の防犯・防災事業	3
カ 少子高齢化社会対策やバリアフリー社会実現のための社会福祉事業	4
キ 住民の交流を通じ、地域コミュニティを活性化するための地域交流事業	49
ク その他市長が特に必要と認める事業	0
計	78

(3) 広報紙配布等事業

市の広報紙等の配布事業等を行う自治会に対して、交付金を交付した。

- ・ 交付自治会数 54 自治会
- ・ 交付金額 27,202,600 円

5 地域活動デジタル化促進事業

自治会及びまちづくり協議会のデジタル活用を促進することにより、地域活動及び市への各種申請手続きの効率化・負担軽減、若い世代の参加促進を図るため、デジタル化に関心・意欲を持つ自治会及びまちづくり協議会を対象に、アドバイザー派遣を行った。

また、自治会の活動のデジタル化を促進するため、デジタル化を実施する自治会に対し、補助金を交付した。

(1) アドバイザーの派遣

デジタル技術を活用する上で、地域団体が抱える課題を解決するため、アドバイザーを個別に派遣し、支援を行った。

派遣期間：令和6年6月19日から令和7年3月27日まで

派遣団体数：26 団体

派遣回数：のべ60回

内容：電子回覧板導入、ホームページ作成・活用、集金のオンライン化、動画の編集、オンライン会議の方法、デジタル化の始め方、LINE やメールの使い方 等

(2) 伊勢市自治会デジタル化促進事業補助金

- ・ 交付自治会数 11 自治会

- ・ 交 付 金 額 675,000 円
- ・ 対 象 事 業 インターネット回線引込み 1 件
デジタル関連機器の購入 11 件

(3) デジタル化情報交換会

自治会のデジタル活用促進のため、伊勢市内の自治会が取り組んでいるデジタル化の具体的事例を知るとともに、参加者同士で情報交換を行った。

- ・ 開催日 令和 6 年 10 月 29 日 (火)
- ・ 場 所 伊勢市生涯学習センター いせトピア 3 階 研修室 1・2
- ・ 内 容 アドバイザー派遣担当者の事例発表
個別相談会、自治会情報交換会
- ・ 参加者 19 団体、28 人

6 伊勢市総連合自治会事務

各自治会による自治活動について連絡協議し、自治会相互の親和と市民の福祉増進に努めるとともに、市政の発展に寄与することを目的として活動している伊勢市総連合自治会へ補助金を交付している。

7 認可地縁団体等関係

地方自治法第 260 条の 2 の規定に基づき、自治会等地縁による団体の法人格取得について、認可に向けた自治会等からの相談及び認可事務を行った。

- ・ 地縁団体認可団体数 1 団体
- ・ 累計認可団体数 107 団体

国際交流関係 (款) 2 . 総務費 (項) 2 . 総務管理費 (目) 19 . 国際交流事業費

1 国際交流推進事業

市民ボランティア及び外国籍を持つ人々と「ともに暮らす国際交流のまちづくり」を推進した。

(1) 伊勢市国際交流協会との協働

会員数 個人会員 80 人、企業・団体会員 4 団体 (令和 7 年 3 月末)

市民の国際交流を促進するとともに、在住外国人への支援を通じ、伊勢市での国際相互理解を深めることに寄与することを目的として活動する伊勢市国際交流協会と協働し、国際交流・多文化共生に関する事業を推進した。

ア 在住外国人のための日本語教室

開 催 日	毎週火曜日	10 : 00 ~ 11 : 30	45 回開催
	毎週木曜日	19 : 00 ~ 20 : 30	45 回開催
	毎週日曜日	10 : 00 ~ 11 : 30	40 回開催

場 所 いせ市民活動センター南館 2 階

参加人数 学習支援ボランティア (協会会員) 延べ 1,907 人

学習者（外国人） 延べ 1,630 人

イ 在住外国人のための日本語教室（オンライン）

開催日 令和6年4月～令和7年3月 随時（169回開催）

実施方法 オンライン会議ツール（Zoom）

参加人数 学習支援ボランティア（協会会員） 延べ 256 人

学習者（外国人） 延べ 345 人

ウ 外国人への日本語学習支援者養成講座

開催日	講座名	講師	参加人数	開催場所
6. 6. 15	外国人への日本語学習支援者養成講座（1回目）	松岡 知津子 氏	25 人 （うちオンライン4）	いせ市民活動センター 南館2階
6. 6. 29	外国人への日本語学習支援者養成講座（2回目）	松岡 知津子 氏	22 （うちオンライン5）	いせ市民活動センター 南館2階
6. 10. 5	地域の外国人と交流するためのやさしい日本語講座（1回目）	船見 和秀 氏	25 （うちオンライン5）	いせ市民活動センター 北館1階
6. 11. 30	外国人への日本語学習支援者養成講座（発展編）	濱畑 静香 氏	31	いせ市民活動センター 北館1階
6. 12. 21	地域の外国人と交流するためのやさしい日本語講座（2回目）	船見 和秀 氏	26	いせトピア 3階 研修室1・2

エ いせ国際交流日本語スピーチ大会

主に市内及び周辺地域に暮らす在住外国人に、国際交流・多文化共生について日本語発表する機会を提供するとともに、一般観覧者を募集し、市民の異文化理解と国際感覚の醸成を促進するスピーチ大会を行った。

開催日 令和6年12月14日（土）

場 所 シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢 4階大会議室

参加人数 14人（中国6人、フィリピン3人、ベトナム2人、インドネシア1人、
バングラデシュ1人、トリニダード・トバゴ1人）

観覧人数 86人

オ 外国語講座

初心者向けベトナム語講座

開催日 令和6年5月11日（土）、5月25日（土）、6月8日（土）、
6月22日（土）、7月13日（土）

実施方法 オンライン会議ツール（Zoom）

講 師 富岡・キム・アイン 氏

参加人数 延べ 18 人

カ 国際理解講座（中国について学ぼう）

開催日 令和 6 年 12 月 22 日（日）

場 所 御園公民館 3 階 学習室

講 師 李 星華 氏

参加人数 17 人

キ 日本文化ワークショップ ～書き初め書道交流会～

開催日 令和 7 年 1 月 19 日（日）

場 所 伊勢市民活動センター 北館 1 階

講 師 竹谷 千幸 氏

参加人数 14 人（日本人 6 人、外国人 8 人）

ク 世界の料理パーティ

開催日	内容	講師	参加人数	開催場所
6.11.24	ベトナム編	レティ ニュン 氏	15 ^人	ハートプラザみその 2 階 栄養指導室
7. 2.15	イギリス編 （オール・イン グリッシュ）	ジェマ ソープ 氏	15	いせトピア 2 階 調理室

（ 2 ） 外国人を対象とした防災説明会

大規模災害発生時の外国人への支援を円滑に行うため、外国人を対象とした防災説明会を実施した。

開催日	内 容	参加人数	開催場所
6.12. 1	外国人住民防災説明会	44 ^人	防災センター

（ 3 ） 異文化体験事業

市内高校生が異文化交流・国際交流活動を始める契機として、日本と異なる文化を体験する事業を実施した。

開催日	内 容	参加人数	開催場所
6. 8. 4	いせ日本語教室外国人学習者とのコミュニケーションゲームを通じた交流会	15 ^人	伊勢市役所 東館 5-3 会議室

伊勢市内の高校生 5 人、外国人住民 10 人

（ 4 ） 日本・パラオ外交関係樹立 30 周年関係

ア パラオ関連資料の特集コーナー設置

開催期間 令和 6 年 12 月 18 日（水） ～ 令和 7 年 1 月 20 日（月）

場 所 伊勢市立小俣図書館 1 階

内 容 パラオ関連図書、資料の展示

イ 三重県による「友好のカヌー」の展示

開催期間 令和6年12月18日(水) ~ 令和7年1月13日(月)

場 所 伊勢市立小俣図書館 1階

内 容 元パラオ共和国大統領 故クニオ・ナカムラ氏(実父が伊勢市大湊出身)から三重県に寄贈されたカヌーの展示

ウ 伊勢とパラオ 交流の歴史展

開催期間 令和7年1月5日(日) ~ 令和7年1月20日(月)

場 所 伊勢市立小俣図書館 2階

内 容 旧大湊小学校とコロール小学校との交流を記念した物品などの展示

エ 伊勢市立みなと小学校とパラオ共和国コロール小学校のオンライン交流会

開催日 令和7年2月19日(水)

場 所 伊勢市立みなと小学校3階 みなとホール

参加人数 76人(みなと小学校46人 コロール小学校30人)

内 容 オンライン会議ツール(Zoom)にて両校児童による交流会を実施

災害ボランティアセンター関係

(款)10. 消防費(項)1. 消防費(目)5. 災害対策費

災害ボランティア支援事業

平成24年1月に締結した「伊勢市災害ボランティアセンターの設置と運営等に関する協定」に基づき、社会福祉協議会と協働で、伊勢市災害ボランティアセンターを運営した。災害時以外も常時開設し、各種研修事業を実施したほか、災害時に備えた関係団体・機関等との協力支援体制構築に取り組んだ。

会議・研修

開催日	内 容	参加人数	開催場所
6. 7.19	伊勢市災害ボランティアセンター連絡会	14人	防災センター 防災研修室1
6. 8.23	伊勢市災害ボランティア入門講座	16	防災センター 防災研修室1
6. 8.23	伊勢市災害ボランティアセンター 運営者専門研修会	11	防災センター 防災研修室1
6.11.30	技術系災害ボランティア養成研修	14	旧大湊小学校
7. 1.25	災害ボランティアセンター運営研修会	39	ハートプラザ みその 多目的ホール

戸 籍 住 民 課

本庁関係

1 住民関係

(1) 住民基本台帳世帯数

区 分	日本人	外国人	混合世帯	計
世 帯 数	55,068 世帯	1,060 世帯	226 世帯	56,354 世帯

(注) 伊勢市総数

(2) 住民基本台帳人口

区 分	日本人	外国人	合 計	
人 口	男	55,277 人	655 人	55,932 人
	女	61,410	837	62,247
	計	116,687	1,492	118,179

(注) 伊勢市総数

(3) 住民異動状況

区 分	件 数	人 数	
届 出	転 入	2,865 件	3,410 人
	転 出	3,064	3,616
	転 居	1,867	-
	世 帯 変 更	1,382	-
	そ の 他	28	-
職 権	出 生	537	544
	死 亡	1,878	1,878
	職 権 消 除	16	-
	修 正	2,016	-
計	13,653	-	

(注) 伊勢市総数

2 戸籍関係

(1) 戸籍数及び本籍人口

戸 籍 数	59,032 戸籍
本 籍 人 口	138,323 人

(注) 伊勢市総数

(2) 届出事件の状況

事件の種類	届 出	他市町村からの送付	合 計
出 生	434 件	341 件	775 件
婚 姻	453	820	1,273
離 婚	136	147	283

死亡・失踪	1,418 件	442 件	1,860 件
養子縁組	37	29	66
養子離縁	26	15	41
国籍の得喪・留保	11	9	20
本籍表示の変更	152	214	366
上記以外で氏・名の変更が生じるもの	185	151	336
上記以外で身分に変更が生じるもの	15	17	32
訂正・追完	101	3	104
不受理申出	18	15	33
その他	2	2	4
計	2,988	2,205	5,193

(3) 戸籍事務処理状況

区 分	件 数
新戸籍編製	719 件
戸籍全部消除	1,013
違反通知	1
戸籍の再製・補完	0
その他	0
計	1,733

(4) 人口動態調査票作成状況

区 分	件 数
出生	565 件
死亡	1,923
死産	11
婚姻	512
離婚	167
計	3,178

(注) 人口動態調査令(昭和21年勅令第447号)に基づき保健所へ提出。伊勢市総数

(5) 埋火葬許可状況

区 分	大 人	小 人	胎 児	計
埋火葬	1,354 件	2 件	10 件	1,366 件

(6) 民刑事項等処理状況

区 分	件 数
犯罪関係通知	150 件
民事関係通知	40
身元事項照会	2,311
計	2,501

(注) 伊勢市総数

(7) 伊勢市版出生届・婚姻届取扱件数

- ・出生届 7件
- ・婚姻届 112件 (注)伊勢市総数

3 証明関係

(1) 住民票関係の交付等の状況

区 分		有 料	無 料	計	収 入 金 額	
住 民 票 の 写 し	本庁	30,763 件	3,421 件	34,184 件	4,296,100 円	
	支所	4,632	20	4,652	926,400	
住民票の除票の写し	本庁	2,021	1,579	3,600	404,200	
	支所	241	8	249	48,200	
広域交付住民票の写し	本庁	47	0	47	9,400	
	支所	4	0	4	800	
戸籍の附票の写し	本庁	1,965	3,286	5,251	340,200	
	支所	636	44	680	127,200	
戸籍の附票の 除票の写し	本庁	602	1,617	2,219	120,400	
	支所	209	4	213	41,800	
住民票記載事項証明	本庁	465	25	490	93,000	
	支所	173	0	173	34,600	
住民基本台帳閲覧	本庁	115	10	125	23,000	
	支所	0	0	0	0	
印鑑登録証明	本庁	21,834	11	21,845	2,798,000	
	支所	4,126	15	4,141	825,200	
諸 証 明	身 分 証 明	本庁	614	0	614	122,800
		支所	89	0	89	17,800
	そ の 他	本庁	291	34	325	58,200
		支所	56	10	66	11,200
本 庁 計		58,717	9,983	68,700	8,265,300	
支 所 計		10,166	101	10,267	2,033,200	
合 計		68,883	10,084	78,967	10,298,500	

(注1) 本庁分に郵送申請、コンビニ交付、オンライン申請を含む

(注2) 住民基本台帳閲覧は、閲覧用紙1枚(20人まで抽出可能)で1件

住民基本台帳の閲覧団体数 24団体(うち公用 2団体)

(2) 戸籍謄抄本交付等の状況

区 分			件 数			収 入 金 額
			有 料	無 料	計	
戸 籍	全部事項	本庁	9,398 件	3,602 件	13,000 件	3,806,200 円
		支所	2,140	52	2,192	963,000
	謄 本	本庁	0	0	0	0

		支所	0件	0件	0件	0円	
	個人事項	本庁	2,215	124	2,339	851,550	
		支所	482	0	482	216,900	
	抄本	本庁	0	0	0	0	
		支所	0	0	0	0	
除籍	全部事項	本庁	1,445	1,275	2,720	1,083,750	
		支所	451	18	469	338,250	
	謄本	本庁	6,200	7,159	13,359	4,650,000	
		支所	2,150	93	2,243	1,612,500	
	個人事項	本庁	34	8	42	25,500	
		支所	7	0	7	5,250	
	抄本	本庁	40	16	56	30,000	
		支所	3	0	3	2,250	
	記載事項	戸籍一部	本庁	0	14	14	0
			支所	0	3	3	0
戸籍記載		本庁	0	0	0	0	
		支所	0	0	0	0	
届書記載事項		本庁	19	1	20	6,650	
		支所	0	0	0	0	
除籍一部		本庁	0	0	0	0	
		支所	0	0	0	0	
除籍記載		本庁	0	0	0	0	
		支所	0	0	0	0	
受理証明	一般	本庁	435	0	435	152,250	
		支所	3	0	3	1,050	
	特別	本庁	57	0	57	79,800	
		支所	1	0	1	1,400	
閱覽	本庁	0	0	0	0		
	支所	0	0	0	0		
広域交付	戸籍	本庁	1,327	759	2,086	597,150	
		支所	178	0	178	80,100	
	除籍(現除)	本庁	208	339	547	156,000	
		支所	52	0	52	39,000	
	除籍(旧除・改製原)	本庁	1,743	2,699	4,442	1,307,250	
支所		272	0	272	204,000		
電子証明 書識別符 号	戸籍	本庁	0	0	0	0	
		支所	0	0	0	0	
	除籍(現除)	本庁	0	0	0	0	
		支所	0	0	0	0	
	除籍(旧除・改製原)	本庁	0	0	0	0	
		支所	0	0	0	0	

届書等情報内容証明書	本庁	3件	0件	3件	1,050円
	支所	0	0	0	0
届書等情報内容閲覧	本庁	0	0	0	0
	支所	0	0	0	0
本庁計		23,124	15,996	39,120	12,747,150
支所計		5,739	166	5,905	3,463,700
合計		28,863	16,162	45,025	16,210,850

(注) 本庁分に郵送申請、コンビニ交付、オンライン申請を含む

(3) 郵送請求処理件数

区分	有料	無料	返戻	取扱件数
戸籍関係証明	4,930件	3,979件	858件	18,555件
住民票関係証明	4,877	3,601		
諸証明関係(身分証明等)	298	12		
計	10,105	7,592		

(4) マイナンバーカードの交付・電子証明書の発行状況

区分		有料	無料	計	金額
マイナンバーカード	通常	377件	6,185件	6,562件	301,600円
	特急発行	6	145	151	10,800
電子証明書	通常	375	14,583	14,958	75,000
	特急発行	6	145	151	1,200

(注) 国外転出者向けマイナンバーカード分含む

(注) 特急発行は、速やかに交付を受ける必要のある人(新生児やカード紛失等による再交付、国外からの転入者など特定の要件を満たした人)を対象に、通常は申請から交付まで1~2か月要するところ、1週間程度で交付を行う制度(令和6年12月2日より開始)

ア 窓口でマイナンバーカードの交付申請補助を行った。

件数 3,206件(支所取り扱い分169件含む)

イ 介護施設等でマイナンバーカードの出張申請を行った。

件数 157件

(5) コンビニ交付

全国のコンビニエンスストア等店舗において各種証明書が取得できるようにすることで、市民の利便性とサービス向上を図った。また、令和6年度限定で手数料を100円減額し、利用の促進を図ったことにより、前年度に比べ交付件数が1.5倍増加した。

取得できる証明書	住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍全部(個人)事項証明書、戸籍の附票の写し、所得(課税)証明書、課税証明書、非課税証明書
----------	--

各種証明書の発行状況

区分	件数	収入金額	交付率
戸籍全部事項	4,229件	1,480,150円	29.8%
戸籍個人事項	1,452	508,200	45.5
住民票の写し	18,565	1,856,500	43.6

戸籍の附票の写し	528件	52,800円	16.9%
印鑑登録証明	15,688	1,568,800	50.2
合計	40,462	5,466,450	42.9

(注) 交付率は、各区分ごとの伊勢市総数(本庁分、郵送申請、コンビニ交付、オンライン申請、支所分、総合支所分を含む)に対するコンビニ交付数の比率

(6) オンライン申請

住民票及び戸籍の証明書の「オンライン申請(スマート申請)」により、利用者が市役所の窓口やコンビニ等へ出向くことなく証明書を取得できるように、市民の利便性とサービス向上を図った。

各種証明書の発行状況

オンライン申請の 入口名称	証明書の種別	入口別 申請件数	証明書別 発行件数	収入金額	返 戻 (差し戻し・ 取下げ)
住民票の写し	住民票の写し	9件	5件	1,000円	25件
	住民票の除票の写し		3	600	
戸籍の附票の写し	戸籍の附票の写し	21	17	3,400	
	戸籍の附票の除票の写し		11	2,200	
戸籍・改製原・ 除籍謄(抄)本	戸籍謄(抄)本 (戸籍全部(個人)事項証明)	82	88	39,600	
	改製原戸籍謄(抄)本		36	27,000	
	除籍謄(抄)本 (除籍全部(個人)事項証明)		16	12,000	
身分証明書	身分証明書	42	42	8,400	
独身証明書	独身証明書	43	47	9,400	
計		197	265	103,600	

4 印鑑登録関係

(1) 印鑑登録数 82,273件(伊勢市総数)

(2) 印鑑登録事務処理状況(伊勢市総数)

区 分	件 数	
増	登 録	3,228件
	そ の 他	0
	計	3,228
減	廃 止	124
	亡 失	813
	死 亡	1,720
	転 出	1,163
	そ の 他	167
	計	3,987

5 支援措置関係

ドメスティック・バイオレンス等の被害者の保護のための措置として、住民基本台帳法による

住民票の写し発行抑止及び戸籍の附票の写し発行抑止を行った。

住民基本台帳事務における支援措置者数

区 分	申 出 者	併せて支援を求める者	合 計
当市での申出受理	48 人	54 人	102 人
他市からの支援要請	93	107	200
計	141	161	302

6 特別永住者関係

特別永住者証明書の交付申請等を受け、法務省へ申請書を送付し、届いた証明書を申請者へ交付した。

特別永住者事務状況（伊勢市総数）

異 動 事 由	件 数	異 動 事 由	件 数
許 可	0 件	再 交 付 (交 換 希 望)	0 件
証交付(法施行前未取得)	0	再 交 付 (紛 失)	2
証 交 付 (切 替)	0	有 効 期 間 更 新	13
再 交 付 (汚 損 等)	0	記 載 事 項 変 更	0

7 住居表示事務

住居番号の申請を受け、実地調査を行うなどして住居表示事務を実施し、結果を申請者へ通知した。

新規付定

住 居	事 務 所	事業所等	その他	計
68 件 (15)	0 件 (0)	3 件 (0)	5 件 (0)	76 件 (15)

(注)()はうち枝番号の付定数

変更

住 居	事 務 所	事業所等	その他	計
2 件 (2)	0 件 (0)	0 件 (0)	0 件 (0)	2 件 (2)

(注)()はうち枝番号への変更数

8 自衛官募集事務

自衛隊法第 97 条に基づき、法定受託事務として自衛隊三重地方協力本部長から依頼を受け、下記の事務を行った。

ア 募集対象者の情報提供

自衛隊法施行令第 120 条の規定に基づき、自衛官及び自衛官候補生の募集に関し必要となる情報（氏名、住所、生年月日及び性別）を提供した。

イ 新規隊員募集の広報

懸垂幕掲示、広報いせへの掲載、文字放送及び啓発物品の配布を行った。

ウ 除外申請の受付の周知

広報いせ及びホームページで、次年度の募集対象者の情報提供から除外を希望するための除外申請の受付の周知を行った。(申請受付期間：令和7年2月3日から令和7年3月31日)

9 伊勢市戸籍住民関係窓口業務等委託

安定した市民サービスと民間事業者の技術と創意工夫を活用した、より一層快適な市民サービスを提供するため、窓口業務等を民間事業者に委託した。

ア 業務内容

- ・証明書交付請求の受付
- ・証明書の発行・交付
- ・戸籍届出(出生・死亡・婚姻・離婚等)の受付・入力業務
- ・住民異動届の受付・入力業務 等

イ 履行期間 令和6年1月1日から令和8年12月31日(3年間)
(契約締結日 令和5年8月22日)

ウ 契約金額 195,861,600円(税込)
うち令和6年度分 65,287,200円(税込)

エ 委託業者 株式会社 ニチイ学館
東京都千代田区神田駿河台4丁目6番地

10 書かない窓口の導入

行政手続きにおいて、届出書や申請書ごとに何度も住所や氏名を記入しなければならないため、書く負担が生じている。そのため、窓口来庁者の申請書記載の負担を軽減することを目的に、証明書発行や住民異動手続きの際、職員が必要な内容を聞き取りシステムに入力する書かない窓口を令和6年11月1日より導入した。

ア 導入した所属

- ・環境生活部戸籍住民課、各総合支所生活福祉課

イ 対象の手続き

- ・各種証明書の発行(住民票の写し・印鑑登録証明書・戸籍謄抄本)
- ・住民異動の手続き
- ・マイナンバーカードに関する手続き

支所関係

1 住民関係・戸籍関係

(1) 住民票関係・戸籍謄抄本等の交付状況

区分	神社支所	大湊支所	浜郷支所	宮本支所	豊浜支所
戸籍	923件 561,450円	327件 199,350円	1,314件 797,750円	677件 326,300円	636件 378,600円
住民基本台帳 関係	804 160,800	352 70,400	1,286 253,400	777 147,000	556 110,200

印鑑証明	462件 92,400円	281件 56,000円	722件 144,400円	501件 99,400円	549件 109,800円
諸証明	24 4,400	10 2,000	46 8,600	16 3,000	12 2,400
計	2,213 819,050	970 327,750	3,368 1,204,150	1,971 575,700	1,753 601,000
区分	北浜支所	城田支所	四郷支所	沼木支所	合計
戸籍	624件 373,050円	663件 374,150円	494件 300,450円	247件 152,600円	5,905件 3,463,700円
住民基本台帳 関係	653 130,600	925 183,000	403 80,600	215 43,000	5,971 1,179,000
印鑑証明	507 101,400	592 117,800	363 71,200	164 32,800	4,141 825,200
諸証明	13 2,600	24 4,200	7 1,200	3 600	155 29,000
計	1,797 607,650	2,204 679,150	1,267 453,450	629 229,000	16,172 5,496,900

(2) マイナンバーカードの交付申請補助件数

神社支所	大湊支所	浜郷支所	宮本支所	豊浜支所
28件	6件	39件	9件	7件
北浜支所	城田支所	四郷支所	沼木支所	合計
12件	38件	30件	0件	169件

(3) その他の業務

市役所各課の業務、自治会との連絡調整業務、資源回収ステーション業務、図書業務その他の受付業務等の多岐に渡る業務を行い、市街地周辺の住民の利便性とサービス向上を図った。

人 権 政 策 課

人権施策推進事業

(款) 3 . 民生費 (項) 5 . 人権政策費 (目) 1 . 人権施策管理費

人権尊重の理念に関する市民相互の理解を深めるため、総合的かつ計画的な施策の推進を図ることを目的に関係官庁や市民団体等の代表で平成14年7月11日に設立した「伊勢市人権施策推進協議会」により、官民一体となって、様々な人権問題の解決に向けた取組みを実施している。

開催日	事業名	事業内容	備考
6. 5. 31	総会	令和5年度事業報告・決算報告 役員の選任 令和6年度事業計画(案)・予算(案)の承認 場 所 伊勢市役所本庁舎東館5-3会議室	
6. 7. 1 ~ 12. 14	人権尊重啓発 ポスター・標語 募集事業	ポスター募集事業：市内小中学校児童生徒から 300点の応募 9月24日、10月9日ポスター審査 (市長賞9点、会長賞15点、奨励賞26点選出) 標語募集事業：市内に在住または通勤通学する15 歳以上の方(中学生を除く)から14点の応募 委員の投票により入賞者を決定 (市長賞1点、会長賞1点選出) 作品展示 10月24日~11月 6日イオンタウン伊勢ララパーク 11月 7日~11月18日ミタス伊勢 11月22日~11月28日伊勢市立伊勢図書館	広報いせ7月15 日号で公募
7. 10	第1回 人権セミナー	演 題「ヤングケアラー」 講 師 志治 優美 さん (エンパワメントみ え代表) 場 所 伊勢市役所本庁舎東館5-3会議室	参加者26人
10. 2	第2回 人権セミナー	演 題「あたりまえから考える人権」 講 師 栗本 敦子 さん (えふらぼ 代表) 場 所 御園公民館 2階講堂	参加者26人
10. 21	第1回委員会	人権尊重啓発ポスター・標語募集事業経過報告、 人権セミナー及び人権講演会、街頭啓発について 場 所 伊勢市役所本庁舎東館 5-3会議室	

11.11	第3回 人権セミナー	演 題「部落差別の現在 - 差別のメカニズムから考える」 講 師 内田 龍史 さん（関西大学社会学部教授） 場 所 御園公民館 2階講堂	参加者27人
12. 5	街頭啓発	人権週間にあわせ、市民の人権尊重の意識高揚を目的に、協議会委員による啓発冊子・物品の配布による啓発活動を実施 啓発場所 市内スーパー等 8 か所 啓発物品配布数 1000 個	参加者31人
12.14	人権講演会 （市と共催）	演 題「知ってほしい、LGBTQ のこと ~これが私。自分らしく生きるために~」 講 師 KABA.ちゃん（タレント/振付師） 場 所 生涯学習センター いせトピア 多目的ホール	参加者337人
7. 2. 1	いせ人権映画祭 （市と共催）	第10回 ISE HUMANRIGHTS MOVIE JAM いせ人権映画祭 場 所 生涯学習センター いせトピア 多目的ホール	参加者 174 人
2.12	第4回 人権セミナー	演 題「インターネットと人権 ~ネットで被害者にも加害者にもならないために~」 講 師 石川 千明さん（公益財団法人人権教育啓発推進センター特任講師） 場 所 御園公民館 2階講堂	参加者 28 人
3.26	第2回委員会	令和6年度事業（見込）及び決算（見込）報告 令和7年度事業計画（案）及び予算（案） 場 所 伊勢市役所本庁舎東館 5-3 会議室	
随 時	啓発用物品	啓発用手提げ袋	800 袋作成
随 時	人権啓発冊子発行	人権ハンドブック 26「マジョリティ特権」	800部作成

隣保館関係

周辺地域を含めた地域社会全体の中で、福祉の向上や人権啓発、住民交流の拠点となる開かれたコミュニティセンターとして、生活上の各種相談や成人学習講座、福祉介護講座等の諸事業を実施するとともに、これらの活動を通じ日常生活に根ざした啓発活動を行い、住民の交流促進と福祉の向上に努めた。

1 事業費

	総事業費	補助基準額	財 源 内 訳	
			県補助金	市 費
隣保館 運営事業費	22,062,363 円	19,622,760 円	14,717,000 円	7,345,363 円

2 事業内容

事業区分		朝熊市民館		黒瀬市民館		計	
		件数	人員	件数	人員	件数	人員
相 談 事 業	人権相談	0	0	0	0	0	0
	職業相談	2	2	0	0	2	2
	教育相談	1	1	0	0	1	1
	福祉相談	0	0	0	0	0	0
	生活相談	2	2	0	0	2	2
	健康相談	0	0	0	0	0	0
	その他相談	0	0	22	22	22	22
講 座	福祉介護講座	3	58	4	106	7	164
	成人学習講座	4	89	3	79	7	168

3 成人学習講座詳細

館・回	項目	開催日	場 所	テ ー マ	講 師	参加人数
黒瀬市民館	第1回	6. 6.21	黒瀬町公民館	尾崎弔堂の生き方	奥本 謙造さん	人 29
	第2回	6. 8.23	黒瀬市民館	チェロを聴きながら 絆を大切に	高村 勝さん 奥田 信江さん	40
	第3回	6.10.18	神社港公民館	みんなで人権の視点から SDGsをめざそう	森嶋 克幸さん	10
朝熊市民館	第1回	6. 7.17	緑ヶ丘公民館	薬剤師としての職能	河井 栄作さん	14
	第2回	6.10. 9	朝熊ふれあい会館	愛・平和のメロディ	高村 勝さん 阿部 暖さん 西川 牧子さん	32
	第3回	6.10.29	朝熊市民館	絵本は心の栄養	橋村 孝子さん	18
	第4回	6.12. 3	鹿海町公民館	子育ては己育て ～障がいを考える～	西川 恒夫さん	25

地区集会所関係

市民の福祉の増進及び生活文化の向上に寄与するための施設、一之木地区集会所について、老朽化により今後の維持管理が困難な状況となることから、地元住民との協議の結果、令和6年度末でその機能を廃止した。

委託関係

施行場所	委託名	概要	金額	着手	完了
一之木 4丁目 地内	一之木地区集会所アスベスト含有調査業務委託	アスベスト含有調査一式	円 484,000	6.11.27	7. 1.22

人権啓発関係 (款) 3 . 民生費 (項) 5 . 人権政策費 (目) 2 . 人権啓発推進費

市民一人ひとりが自らの人権意識を高め、すべての人々の人権が守られる心豊かな明るく住みよい地域社会を築いていくことを目的に、次のとおり啓発活動を推進した。

1 人権啓発推進事業

(1) 各種広報、啓発事業

広報啓発活動	内容	備考
広報いせ人権情報掲載	人権尊重の理念の普及とその理解を深めてもらうことを目的に、様々な人権情報を掲載し、市民に人権について考える機会を提供した。	随時掲載
地域人権啓発紙の発行	市民館にて地域人権啓発紙を発行。(教育集会所、児童センターほか、課職員が編集に参加) 様々な人権問題をテーマとした記事や施設の活動状況を掲載して、地域住民に人権について考える機会を提供した。	地域人権啓発紙 2紙 毎月発行
人権週間パンフレット及び啓発物品の作成	人権週間をPRし、人権の大切さを広く市民に訴えるため、啓発パンフレットを作成し、人権尊重宣言都市啓発用物品と合わせて、企業啓発、関係機関窓口、街頭啓発等で配布した。	パンフレット 1,800枚 啓発物品 (ボールペン) 3,000個
人権啓発パンフレット及び啓発物品の作成	市民の人権意識の高揚を図るため、人権17課題を簡潔にまとめた啓発用パンフレット及び啓発物品を作成し、行事等で配布し啓発をした。	パンフレット 3,000枚

人権学習リーフレットの作成	vol.35「守られる権利ー犯罪被害者とその家族のために支援をー」をテーマにしたリーフレットを作成した。	vol.35 800部
差別をなくす強調月間での展示及び懸垂幕、のぼりの掲出	本庁及び各総合支所にて人権パネル展を開催。本庁・小俣総合支所において懸垂幕を掲出。市役所本庁舎、各総合支所にのぼり旗の掲出。	
企業啓発	差別をなくす強調月間にあわせ、市内企業を訪問し、啓発活動を実施 【実施企業】ツダアトミック、磯部工業、リブネット、アイエスイー、糸びや、キクカワエンタープライズ、伊勢金型工業 二軒茶屋餅角屋本店	8社訪問 啓発物品、パンフレット配布数 400個

(2) ISE HUMANRIGHTS MOVIE JAM (いせ人権映画祭)

人権をテーマとした自主制作映像作品を全国の幅広い年齢層から募集し上映することにより映像制作・鑑賞を通して人権に対する意識の啓発と人権感覚の向上を図ることを目的に第10回いせ人権映画祭を開催した。令和7年2月1日、いせトピアにて、選考委員会で選ばれた10作品を上映後、映画監督の瀬木直貴さんによる講評を行った。また、いせ人権映画祭10周年記念として、瀬木直貴さんによる講演会も実施した。(参加者174人)

上映作品は下記のとおり。

作 品 名	団 体 名	
モテモテばば	映像CUBE	松阪市
ませるな危険	市川 良也	四日市市
おばあちゃんのぬか漬け	菰野ふるさと映画塾	菰野町
寄せ鍋	加藤 壮真	千葉県
馬権	三重高等学校 放送部	松阪市
消えないもの	桜丘高等学校 放送部	伊賀市
踏み出す勇氣	三重県立伊勢高等学校 放送部	伊勢市
夏空と銀色のプローチ	江島 香希	神奈川県
アの国の友だち	小野 光洋	千葉県
The Mosquito	鈴木 雄吾	千葉県

2 講演会開催事業

人権に対する正しい理解と認識を広めるため、令和6年12月14日、KABA.ちゃん(タレント/振付師)を講師に招き、いせトピアにて講演会「知ってほしい、LGBTQのこと~これが私。自分らしく生きるために~」と題して人権講演会を開催した。(参加者337人)

また、講演会開会行事として、人権尊重啓発ポスター・標語の表彰式を行った。

3 小学校区別人権・同和教育推進連絡協議会事業

市内各小学校区において、自治会長(区長)、民生委員、人権擁護委員、学校長などが委員と

なり人権啓発活動を行なっている 21 の人権・同和教育推進連絡協議会へ、負担金を支払い、活動の支援を行なった。

4 人権啓発講座開催事業

市内の小中学校の保護者及び一般を対象とし、人権に対する知識理解や人権感覚を身につけた人材を育成することにより、その受講者が家庭はもとより各小中学校や各地域の人権推進の担い手となり、住みよい社会を築くことを目的として4回の講座を開催した。(延べ参加者124人)各回の内容は下記のとおり。

	開催日	場 所	テーマ	講 師	参加人数
第1回	6. 7.21	御園公民館	子どもの人権	元大阪教育大学教授 園田 雅春さん	人 32
第2回	6.10. 6	御園公民館	性の多様性	いなべ市 LGBT 専門相談員「チーム素自(SOGI)」共同代表 浦狩 知子 さん	33
第3回	6.11.17	御園公民館	インターネットと人権	一般社団法人未来の大人応援プロジェクト(度会郡度会町教育委員会 教育長)中村 武弘さん	32
第4回	7. 1.19	御園公民館	障がい者の人権	浜松学院大学短期大学部 教授 志村 浩二 さん	27

5 人権相談

市民を対象とした、様々な人権問題についての相談を随時受け付け、相談者自らが主体的に解決できるよう情報の提供や助言を行った。

6 人権擁護委員との連携

法務大臣から委嘱を受け、市内各地域で活動している17人の人権擁護委員と連携し人権啓発、人権相談を行った。

○ 非核平和推進事業

(款) 3 . 民生費 (項) 5 . 人権政策費 (目) 2 . 人権啓発推進費

1 非核・平和第45回空襲展の開催

市民の空襲の記録を収集し、展示することによって、核兵器の廃絶及び軍備縮小並びに平和を広く訴えるため、空襲展実行委員会に参画し、8月24・25日に第45回空襲展を開催した。

2 原爆被災ポスター展

原爆被災の実相を伝え、戦争や核兵器のない未来をつくることをめざして、広く市民に平和の尊さを訴える原爆被災ポスター展を7月19日から7月30日まで御園総合支所と小俣総合支所で、8月1日から8月15日まで本庁と二見総合支所で開催した。

3 非核平和都市宣言折り鶴

「中学生ピースメッセンジャー」広島平和事業への市内各市立中学校生徒代表の参加にあたり、各校生徒が平和への祈りを込めて作る千羽鶴用に、伊勢市非核平和都市宣言文を印刷した折り紙用紙を提供した。（10校×1,100枚）

4 日本非核宣言自治体協議会

日本非核宣言自治体協議会では、核廃絶を求める内容の決議を行った自治体が連携し、平和関連事業を実施、また、核実験を行った国に向けて抗議文書を送るなど、核兵器廃絶と恒久平和の実現に向けて様々な事業を行っている。当市においても、協議会の趣旨に賛同し、協議会に加盟、非核・平和推進に向け、活動に協力している。

（非核宣言自治体総数 1,671 自治体、内、協議会会員自治体数 366 自治体：令和 7 年 5 月 20 日現在）

5 平和首長会議

平和首長会議は、世界の都市が緊密な連携を築くことによって、核兵器廃絶の市民意識を国際的な規模で喚起、核兵器廃絶を実現にむけ活動するほか、人類の共存を脅かす諸問題の解決、環境保護等、世界恒久平和の実現に寄与することを目的とし、この趣旨に賛同する都市（自治体）で構成された機構であり、当市も趣旨に賛同し加盟し平和行政を進めている。

（平和首長会議加盟総数 世界 166 か国・地域 8,479 都市（内、日本国内 1,740 都市）：令和 7 年 5 月 1 日現在）

6 「国際平和デー」の周知

・国際平和デー「鐘の音とともに祈りを」

国連が定めた『国際平和デー』に合わせて、9月21日正午から、「鐘の音とともに祈りを」と題して市内の寺院や教会等の協力を得て鐘を鳴らし、平和を感謝し、恒久平和を祈念する取り組みを実施した。（寺院や教会等 94 か所に参加依頼）

環 境 課

伊勢広域環境組合

伊勢広域環境組合運営事業（款）4．衛生費（項）1．保健衛生費（目）1．保健衛生総務費

し尿等処理、火葬業務等を、伊勢市、明和町、玉城町、度会町で構成する伊勢広域環境組合で衛生的、効率的に行った。

業務名	施設	構成市町
し尿等処理業務	クリーンセンター	伊勢市、玉城町、度会町
火葬業務	斎場	伊勢市、明和町、玉城町、度会町

（１）分担金の推移（伊勢市分）

区分	3年度	4年度	5年度	6年度
	千円	千円	千円	千円
クリーンセンター	179,505	175,632	202,961	212,363
斎場	59,597	49,054	63,231	67,508

（２）分担金内訳（伊勢市分）

区分	クリーンセンター	斎場	計	備考
共通経費	千円 2,936	千円 800	千円 3,736	平等割 10% 加入事務数割 90%
運営経費	209,427	57,474	266,901	実績割 100%
建設経費	0	9,234	9,234	平等割 10%、人口割 90%
公債費	0	0	0	-
計	212,363	67,508	279,871	-

（３）クリーンセンター処理実績

区分	3年度	4年度	5年度	6年度
	kg	kg	kg	kg
総処理量 （伊勢市・玉城町・度会町分）	42,187,660	40,917,670	38,736,200	38,760,260
内 伊勢市分	35,202,540	34,222,700	31,918,650	32,200,990

（４）クリーンセンター処理状況

市内のし尿等の収集運搬については、し尿収集運搬業・浄化槽清掃業許可業者数 8 社による許可車両 35 台（本許可車両 25 台、予備車両 10 台）で対応した。

区分	3年度	4年度	5年度	6年度
し尿	kg 5,124,752	kg 4,860,040	kg 4,620,220	kg 4,582,910
浄化槽汚泥	30,077,788	29,362,660	27,298,430	27,618,080
計	35,202,540	34,222,700	31,918,650	32,200,990

（５）斎場利用実績

区分	3年度	4年度	5年度	6年度
	件	件	件	件
総利用数 （伊勢市・明和町・玉城町・度会町・管外）	2,276	2,496	2,483	2,637
内 伊勢市分	1,633	1,774	1,768	1,852

胞衣汚物及び霊安室利用を除く。

(6) 斎場利用状況

区分	明和町・玉城町・度会町	管外	伊勢市	計
12歳以上の者	件 645	件 138	件 1,837	件 2,620
12歳未満の者	0	0	4	4
死産児	2	0	11	13
計	647	138	1,852	2,637
胞衣汚物	16件			
霊安室利用	12件			

生物多様性保全活動の推進

生物多様性保全活動の一環として動植物の生息・育成状況の把握に努めた。

実施時期	地点	概要
6. 4.23 6. 6. 4 6. 9.19 6.11.19 7. 2.22	勢田川周辺	勢田川のいきもの生息状況を把握することを目的として、採集、写真撮影により種の同定を行い、活動記録をホームページに掲載した。

生物多様性...多様な生き物が多様な環境に豊かに生息している状態

犬・猫関係

1 狂犬病予防事務

狂犬病予防法に基づき、飼い犬情報の管理を行った。

区分		3年度	4年度	5年度	6年度
登録数		頭 7,158	頭 7,141	頭 7,120	頭 6,982
新規	動物病院	271	301	236	225
	窓口等	137	148	143	187
予防注射接種数(獣医師)		4,378	4,535	4,188	4,851

2 飼い犬及び猫の不妊手術費等の助成

犬猫共生サポート事業 (款) 4 . 衛生費(項) 1 . 保健衛生費(目) 1 . 保健衛生総務費
犬や猫の適正飼育を促進するため、不妊手術費等の一部助成を行った。

区分		助成額/件	4年度		5年度		6年度	
			件数	交付金額	件数	交付金額	件数	交付金額
犬	雄	円 3,000	件 135	円 405,000	件 104	円 312,000	件 100	円 300,000
	雌	4,000	105	420,000	117	468,000	113	452,000
猫	雄	2,500	247	617,500	175	437,500	163	407,500
	雌	3,500	294	1,029,000	222	777,000	210	735,000
計			781	2,471,500	618	1,994,500	586	1,894,500

3 飼い主のいない猫対策

犬猫共生サポート事業 (款) 4 . 衛生費 (項) 1 . 保健衛生費 (目) 1 . 保健衛生総務費

猫と人が共生できる社会を目指すとともに生活環境の保全を図るため、地元自治会、伊勢保健所、三重県動物愛護推進センター(あすまいる)、公益財団法人どうぶつ基金、動物ボランティアと連携しTNR活動を実施した。また、伊勢市が市内動物病院と委託契約を締結し、TNR活動を実施した。

【TNR実施数】

区分		3年度	4年度	5年度	6年度
三重県動物愛護推進センター実施分	回数	7回	6回	9回	9回
	匹数	85匹	34匹	81匹	69匹
伊勢市委託分	回数	-	36回	35回	48回
	匹数	-	56匹	89匹	77匹

TNR活動...飼い主のいない猫に不妊去勢手術を行い、元の場所に戻すことで繁殖を抑制し苦情や殺処分数の減少に寄与する活動

生活排水対策の推進

汚水処理施設整備事業 (款) 4 . 衛生費 (項) 1 . 保健衛生費 (目) 1 . 保健衛生総務費

生活排水処理施設の整備、生活排水対策にかかる啓発について計画的、総合的に推進することを目的に平成28年3月に「第2期伊勢市生活排水対策推進計画」を策定、令和3年3月に計画の見直しを行い、合併処理浄化槽の設置促進及び共同汚水処理施設の適正管理を推進している。

1 浄化槽設置整備事業補助金

循環型社会形成推進交付金 (款) 17 . 国庫支出金 (項) 2 . 国庫補助金 (目) 3 . 衛生費国庫補助金

小型合併処理浄化槽設置整備事業費補助金 (款) 18 . 県支出金 (項) 2 . 県補助金 (目) 3 . 衛生費県補助金

合併処理浄化槽の設置を促進するため設置者に対し補助を行った。

(1) 予定処理区域外(予定処理区域内低地等含む。)

【新築】

人槽	設置費用		
	補助金 限度額	交付 基数	交付 額計
5	千円 168	基 64	千円 10,752
7	207	11	2,277
10-50	276	1	276
合計	-	76	13,305

【単独処理浄化槽からの転換】（建替えなし）

人槽	設置費用			配管費用			撤去費用		
	補助金 限度額	交付 基数	交付 額計	補助金 限度額	交付 件数	交付 額計	補助金 限度額	交付 件数	交付 額計
5	千円 332	基 5	千円 1,660	千円 300	件 14	千円 4,200	千円 90	件 9	千円 810
7	414	9	3,726						
10-50	548	0	0						
合計	-	14	5,386	-	14	4,200	-	9	810

【単独処理浄化槽からの転換】（建替えあり）

人槽	設置費用			配管費用			撤去費用		
	補助金 限度額	交付 基数	交付 額計	補助金 限度額	交付 件数	交付 額計	補助金 限度額	交付 件数	交付 額計
5	千円 332	基 0	千円 0	千円 60	件 0	千円 0	千円 90	件 0	千円 0
7	414	0	0						
10-50	548	0	0						
合計	-	0	0	-	0	0	-	0	0

【くみ取りからの転換】

人槽	設置費用			配管費用		
	補助金 限度額	交付 基数	交付 額計	補助金 限度額	交付 件数	交付 額計
5	千円 332	基 6	千円 1,992	千円 60	件 6	千円 360
7	414	0	0			
10-50	548	0	0			
合計	-	6	1,992	-	6	360

(2) 予定処理区域内

【新築及び単独処理浄化槽・くみ取りからの転換】

人槽	設置費用		
	補助金 限度額	交付 基数	交付 額計
5	千円 110	件 19	千円 2,090
7	138	4	552
10	182	0	0
合計	-	23	2,642

予定処理区域内においては、配管、単独浄化槽の撤去費用及び11人槽以上の浄化槽は補助対象外。

2 共同汚水処理施設修繕工事補助金

住民が組織する団体が管理する共同汚水処理施設の適正な維持管理を促進するため、設置後7年以上が経過した共同汚水処理施設の修繕工事（修繕工事に要する経費が1件当たり30万円以

上)を実施した管理団体に対し補助を行った。

団地名(人槽)	事業費	補助金額	事業概要
大倉うぐいす台団地 (1,400人槽)	円 1,540,000	円 513,000	曝気ブローNo.2 修理 調整ブローNo.2 修理 酸化ブローNo.1 修理
イトーピアふじが丘団地 (2,800人槽)	2,310,000	770,000	汚水(計量)ポンプ取替 ばっ気ブロー修繕 荒目自動スクリーン取替 (中継ポンプ槽) 汚水ポンプ取替(中継ポンプ槽) 操作盤機器取替
計	3,850,000	1,283,000	-

伊勢市環境審議会

衛生一般事業 (款) 4 . 衛生費 (項) 1 . 保健衛生費 (目) 1 . 保健衛生総務費

第3期伊勢市環境基本計画の進行管理及び計画改定について、伊勢市環境審議会で審議した。

【環境審議会】

伊勢市環境基本条例第11条の規定に基づき設置

構成：公共的団体等に所属する者で、その団体の推薦を得たもの8人

学識経験を有する者3人

その他市長が必要と認める者7人

会長：中松 豊 氏 (皇學館大学教育学部教授)

副会長：山村 直紀 氏 (三重大学大学院工学研究科准教授)

【開催実績】

	開催日	内容
第1回	6. 6. 6	第3期伊勢市環境基本計画における取組の実施状況と総括について
第2回	6. 7.31	第3期伊勢市環境基本計画改定に係る骨子案について
第3回	6. 9.19	第3期伊勢市環境基本計画(改定案)について
第4回	6.10.17	第3期伊勢市環境基本計画改定版(案)について
第5回	7. 1.16	第3期伊勢市環境基本計画改定版(案)パブリック・コメント結果について、答申について

伊勢市環境会議

生活排水対策事業 (款) 4 . 衛生費 (項) 1 . 保健衛生費 (目) 1 . 保健衛生総務費

衛生一般事業 (款) 4 . 衛生費 (項) 1 . 保健衛生費 (目) 1 . 保健衛生総務費

伊勢市環境会議は、伊勢市の環境保全・環境意識の向上を目的に、市民や企業の代表者、行政

等により平成 25 年 4 月に発足した。毎月の例会において会員が知恵を出し合い、協力して啓発事業等を行っている。

実施日	事業名	概要	備考
6. 4.23 6. 6. 4 6. 9.19 6.11.19 7. 2.22	いきもの調査	勢田川流域において、かご網等で生き物を採集し、種類を特定する生物調査を実施した。	実施場所 有連橋付近 有連橋付近 有連橋付近 有連橋付近 有連橋付近
自治会会場 6. 5.12 ～ 7. 7 一般会場 6. 7. 7	勢田川七夕大そうじ	「勢田川を天の川に」をスローガンに、河川浄化と環境意識の啓発として勢田川沿岸で清掃活動を実施した。一般会場と自治会会場を設けて実施した。	参加者 一般会場 約 200 人 自治会会場 約 800 人
6. 5.25	ごみゼロ早朝清掃	5月30日の「ごみゼロの日」にちなみ、市民一人ひとりがごみ問題に対する意識を高めるため、五十鈴川河川敷・おはらい町周辺で清掃活動を実施した。	参加者 約 200 人 燃えるごみ 60 kg その他のごみ 3kg
6. 6. 3 6. 6.11 6. 6.12 6. 6.14 6. 6.17 6. 6.24 6. 6.25 6. 7.23 6. 9. 3 6. 9. 4 6. 9. 6 6.10. 8 6.10.16 6.10.25 6.11.12 6.11.15 6.12.12 6.12.23 7. 1.14	環境出前講座 (園児対象)	保育所・幼稚園等の園児が楽しみながら環境について興味を持ってもらえるよう、環境に関する紙芝居、ごみの分別体験や着ぐるみとのふれあいなどを環境出前講座として実施した。	参加者 えがお保育園 68 人 伊勢けいゆう塾保育園 78 人 小俣幼稚園 77 人 村松保育園 18 人 明野幼稚園 24 人 豊浜西保育所 38 人 しごうこども園 63 人 あけの保育園 60 人 修道こども園 31 人 しらとり園 55 人 東大淀保育園 27 人 有緝こども園 142 人 きらら館 29 人 えがおあけぼの保育園 77 人 ふたみ保育園 106 人 大湊保育園 30 人 船江保育園 53 人 有滝保育園 15 人 たけのこ保育園 77 人

7. 1.22 7. 2. 4 7. 2. 6 7. 2.14			御園第二保育園 69人 ゆりかご園 28人 明野幼稚園 24人 浜郷保育所 47人
6. 6. 4	身近な水環境の全 国一斉調査	全国水環境マップ実行委員会 主催の水環境の調査に参加し た。(いきもの調査と同時実施)	実施場所 有連橋付近
6. 6. 5	二見町神前海岸清 掃活動、水辺のご み実態調査	南勢志摩地域海岸漂着物対策 連絡会議主催のごみ実態調査 に参加した。	参加者 23人
6.7~6.9	MOTTAINAI(もった いない)ポスター コンクール ~「食品ロス」を なくそう!ごみを へらそう!~	物や食べ物を捨てる前に“もっ たいない”と思う気持ちを持 ち、ごみに出す前にもう一度考 える行動ができるよう、子ども たちから広く市民にメッセー ジを発信してもらうため、市内 小中学校へ「食品ロス削減」な どをテーマに作品募集を行っ た。伊勢市環境フェアにおいて 受賞者への表彰式を実施し、入 賞作品は市内商業施設等にて 展示するほか、ケーブルテレビ にて放送した。	受賞者 計51人 (応募作品数 398作品)
6. 8. 4	いせトピア子ども 夏まつり	特定非営利活動法人まなびの 広場が主催するイベントにて、 貝がらストラップづくりや環 境クイズを行った。また、リサ イクル品・活動写真・いきもの 調査取組等を展示した。	来場者 968人
6.10. 6	伊勢市環境フェア ~みんなで脱炭素 社会をめざそう! ~	県営サンアリーナで行われた 伊勢市環境フェアにおいて、環 境意識の啓発を目的に体験ブ ース等を出展した。	来場者 約10,000人
6.11. 7	鳥羽市答志島奈佐 の浜海岸清掃	南勢志摩地域海岸漂着物対策 連絡会議主催のごみ実態調査 に参加した。	参加者 39人
6.12. 2 ~12.26	環境会議の活動写 真展示	環境会議の取組を紹介するた め、百五銀行伊勢支店のロビー に活動写真等を展示した。	

6.12.15	みえ環境フェア	メッセウイング・みえで開催された、三重県地球温暖化防止活動推進センター主催の、みえ環境フェアに参画し、貝がらストラップづくりを行った。また、活動写真・いきもの調査取組等を展示した。	来場者 約 5,000 人
7. 1.12	いせトピア子ども新春まつり	特定非営利活動法人まなびの広場が主催するイベントにて、木の実と種でプチオブジェづくりを行った。また、活動写真・いきもの調査取組等を展示した。	来場者 866 人
7. 2. 3 7. 2. 4 7. 2. 5 7. 2. 6 7. 2.10	地球温暖化防止街頭啓発	地球温暖化防止に関する意識の向上を図るため、啓発チラシを配布した。	実施場所 プライスカット伊勢二見店 ぎゅーとらラブリー藤里店 イオンタウン伊勢ラパーク 伊勢みそのショッピングセンター ぎゅーとら小俣店
7. 2.22	勢田川に親しむ事業（勢田川ウォッチング）	勢田川を身近に感じてもらえるよう、親子等を対象に、勢田川の名所や動植物等の観察会を実施した。	参加者 2 人
随時	ボランティア清掃ごみ袋	少人数での河川等のボランティア清掃を支援するため、ボランティア清掃ごみ袋を希望者へ配布した。	配布枚数 590 枚

衛生・美化関係

1 防疫

生活環境の保全を目的に、ハチ防護服の貸出を行った。

区分	3年度	4年度	5年度	6年度
ハチ防護服貸出	件 28	件 46	件 29	件 29
台風等による消毒剤配布	0	4	9	0
煙霧消毒	2	-	-	-
ボウフラ等駆除薬剤配布	-	2	0	0

煙霧消毒は、令和4年度から取り扱いが安全なボウフラ等駆除薬剤の配布に切り替えた。

2 公衆浴場に対する支援

衛生一般事業（款）4．衛生費（項）1．保健衛生費（目）1．保健衛生総務費

市内にある公衆浴場の確保を図るため、伊勢公衆浴場組合を通じて、市内の公衆浴場2か所に集客用の物品支援（トイレトーパー1,152個、ボックスティッシュ278セット）を行った。

3 高麗広地区飲料水浄化施設等設置補助事業

衛生一般事業（款）4．衛生費（項）1．保健衛生費（目）1．保健衛生総務費

高麗広地区においては上水道施設がないことから、良質で安全な飲料水の確保のために、自家用井戸や浄水施設等の設置、水質検査を実施した当該地区住民に対し補助を行っている。令和6年度の申請は無かった。

水道法関係

水道法に基づく専用水道、簡易専用水道及び三重県小規模水道条例に基づく水道の届出について、届出受理業務を行った。

区分	5年度		6年度	
	設置届	廃止届	設置届	廃止届
水道法(専用水道)に基づく届出	件 0	件 1	件 1	件 0
水道法(簡易専用水道)に基づく届出	5	2	0	0
三重県小規模水道条例に基づく届出	0	0	0	0

環境教育

衛生一般事業（款）4．衛生費（項）1．保健衛生費（目）1．保健衛生総務費

1 皇學館大学との連携事業

皇學館大学と市は、文化・教育・学術等の分野で相互に機能向上を図るとともに、地域の活性化と人材の育成を図ることを目的に、平成20年7月11日に連携協定を締結している。

環境分野における連携として、教育学部生物学ゼミ及び理科教育学ゼミによる昆虫を活用した環境に関する出前講座を市内小学校で実施した。

また、同大学教育学部社会科教育学ゼミとの連携により、伊勢市環境フェアにおいて環境啓発「地球を守ろう！ブロックでアイデアづくりに挑戦！」を実施した。

【出前講座実績】

実施日	小学校名	学年・人数
6.7.3	北浜小	2年生 14人
6.7.3	小俣小	3年生 68人
6.7.5	小俣小	3年生 33人
6.10.23	豊浜西小	1年生 18人、3年生 17人
6.11.8	城田小	2年生 49人
6.11.15	豊浜東小	3年生 6人、6年生 10人
6.11.20	厚生小	1年生 36人
6.11.29	浜郷小	1年生 35人

2 事業者における環境教育

事業者においては、事業者自らの企画による環境教育等が社会貢献活動として実践されており、各事業者が有する人材・学習教材となりうる資材の提供等の協力をいただくことで学習環境の充実を図るため、環境教育に関する協定書を締結している。

協定に基づき、市内の小中学校向けに環境出前講座等を実施した。

また、新たにコカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社と協定書を締結し、令和7年度から環境教育等に協力いただくこととなった。

【環境出前講座等実績】

実施主体	実施日	小中学校名	学年・人数	概要
中部電力	-	-	-	令和6年度申込なし
三十三銀行	7. 1. 31	中島小	4年生 33人	みえこどもエコ活動説明
横浜ゴム	6. 11. 19	豊浜西小	4年生 23人	工場見学、植樹体験
	6. 12. 9	みなと小	4年生 55人	生物多様性保全活動等に関する出前授業
	6. 12. 13	城田小	3年生 42人	工場見学、植樹体験
	6. 12. 17	中島小	5年生 33人	工場見学、植樹体験
河田フェザー	6. 6. 6	二見浦小	5年生 11人	羽毛リサイクルを通じた環境保全・資源循環に関する出前授業
	6. 10. 23	港中	1年生 63人 2年生 67人 3年生 55人	羽毛リサイクルを通じた環境保全・資源循環に関する出前授業
	7. 1. 31	東大淀小	5年生 13人 6年生 5人	羽毛リサイクルを通じた環境保全・資源循環に関する出前授業
パナソニック	7. 2. 7	北浜小	4年生 10人 5年生 15人 6年生 7人	省エネ・電気に関する出前授業

< 参考：協定年月日及び協定先 >

平成 23 年 9 月 30 日 中部電力株式会社（現：中部電力パワーグリッド株式会社）

平成 27 年 1 月 26 日 株式会社第三銀行（現：株式会社三十三銀行）

平成 28 年 1 月 22 日 横浜ゴム株式会社三重工場

令和 5 年 12 月 27 日 河田フェザー株式会社

令和 6 年 1 月 12 日 パナソニック株式会社

令和 6 年 8 月 9 日 コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社

公害対策事業

公害対策事業（款）4．衛生費（項）1．保健衛生費（目）1．保健衛生総務費

1 大気汚染調査

市内の大気汚染の状態を把握するため、三重県環境生活部が厚生中学校に大気環境測定局を設置（昭和63年3月測定開始）し、二酸化硫黄、PM2.5、浮遊粒子状物質、オキシダント、窒素酸化物、炭化水素等について測定調査した。結果については、三重県ホームページに掲載されて

いる。

(1) 光化学スモッグ発生状況

発令区分	3年度	4年度	5年度	6年度
予報	0回	0回	0回	0回
注意報	0回	0回	0回	0回

2 水質調査

河川や幹線排水路及び海域の水質汚濁状態を把握した。

(1) 簡易水質調査実施状況

区分	地点数	項目数	回数
河川	8	7	12
幹線排水路	4	7	12

(2) 主な河川等のBOD調査結果(三重県公表値)

区分	2年度	3年度	4年度	5年度	環境基準
度会橋(宮川)	mg/L <0.5	mg/L 1.0	mg/L <0.5	mg/L <0.5	1 mg/L 以下
宇治橋(五十鈴川)	0.5	0.5	0.5	0.6	1 mg/L 以下
堀割橋(五十鈴川)	1.2	0.9	1.5	1.5	2 mg/L 以下
大野橋(外城田川)	2.9	1.9	2.5	2.2	3 mg/L 以下
野依橋(外城田川)	1.7	1.7	1.9	3.7	5 mg/L 以下
勢田大橋(勢田川)	4.6	2.0	1.9	2.7	5 mg/L 以下

数値は75%値

(3) 海域のCOD調査結果(三重県公表値)

区分	2年度	3年度	4年度	5年度	環境基準
伊勢地先海域 (大湊町地先)	mg/L 2.1	mg/L 1.8	mg/L 2.1	mg/L 1.7	3 mg/L 以下

数値は75%値

3 騒音・振動調査

市内の騒音及び振動の状態を把握するため、環境騒音・道路交通振動について測定した。

(1) 一般環境騒音調査結果

測定地点	用途地域	地域類型	基準値		測定値
			昼間	dB	
神田久志本町	第一種住居地域	B	昼間	55	42
			夜間	45	36
岩淵2丁目	近隣商業地域	C	昼間	60	46
			夜間	50	39
大倉町	未指定	-	昼間	-	41
			夜間	-	33

(2) 道路交通騒音調査結果

市内の主要幹線道路における環境基準達成状況を把握するため、騒音規制法第18条第1項の規定に基づき、自動車騒音の常時監視を行った。この調査は、道路環境の各種施策へ反映を図る資料として、環境省環境管理状況局自動車騒音環境対策課が配布する「面的評価支援システム」を用いて、評価対象路線における環境基準の達成状況を調査するもの。

測定地点 路線名	用途地域	地域類型	基準値		測定値
			昼間	dB	dB
神田久志本町 伊勢南島線	第一種住居地域	B	昼間	70	66
			夜間	65	55
岩淵2丁目 伊勢南島線	近隣商業地域	C	昼間	70	66
			夜間	65	58
大倉町 伊勢南島線	未指定	-	昼間	-	68
			夜間	-	57

(3) 道路交通振動調査結果

測定地点	用途地域	基準値		測定値
		昼間	dB	dB
岩淵1丁目 伊勢市役所前	近隣商業地域	昼間	70	32
		夜間	65	32

4 悪臭調査

生活環境の保全を図るため、工場・事業場等の事業活動に伴って発生する悪臭について必要に応じて臭気調査を行っている。令和6年度は調査を行わなかった。

5 公害苦情等処理状況

市民から電話、窓口等により寄せられる身の回りに関する苦情について対応した。

区分		4年度	5年度	6年度
典型 7 公害	大気汚染	45件	44件	46件
	水質汚濁	8	11	3
	土壌汚染	0	0	0
	騒音	46	20	46
	振動	0	1	2
	地盤沈下	0	0	0
	悪臭	21	22	27
小計		120	98	124
その他	草刈り・樹木剪定	128	134	77
	害虫	14	12	7
	動物(犬猫等)	47	57	49
	その他	99	58	37
	小計		288	261
合計		408	359	294

6 公害関係法令等に基づく各種届出受理業務

公害関係法令等に基づき、事業活動を行う工場及び事業場、また、特定建設作業に対する各種届出の受理業務を行った。

(1) 特定施設に関する設置等の届出

区分		5年度			6年度		
		設置届	廃止届	その他	設置届	廃止届	その他
大気汚染防止法		1件	0件	3件	3件	3件	4件
水質汚濁防止法		21	9	20	18	5	19
騒音規制法		2	2	7	3	0	2
振動規制法		1	1	6	0	0	3
三重県 生活環境の保 全に関 する条 例関係	ばい煙	0	1	1	0	0	0
	炭化水素系物質	0	0	0	0	0	0
	粉じん	0	0	3	0	0	1
	汚水	0	0	1	0	0	0
	騒音	3	0	1	4	1	4
	振動	0	0	0	2	0	0
揚水設備		0	0	1	1	1	2
ダイオキシン類対策特別措置法		0	0	0	3	0	0
特定工場における公害防止組織の整備に関する法律		0	0	6	0	0	14
計		28	13	49	34	10	49

(2) 特定建設作業に関する届出

区分	4年度		5年度		6年度	
	法律	条例	法律	条例	法律	条例
騒音	27件	1件	42件	5件	38件	21件
振動	22	1	22	3	26	10
計	49	2	64	8	64	31

(3) その他の法令等に基づく届出等に係る意見

区分	4年度	5年度	6年度
伊勢市土地開発事業指導要綱に基づく事前協議等に 係る意見	24件	13件	9件
大規模小売店舗立地法に基づく届出に係る意見	1	3	0
計	25	16	9

地球温暖化防止対策の推進

1 環境フェアの開催

脱炭素社会推進事業（款）4．衛生費（項）1．保健衛生費（目）1．保健衛生総務費

市民の皆様には、体験などを通して、環境の状況や取組等を知っていただき、環境意識の向上や市の環境施策への理解と協力を得ることを目的とし、令和6年10月6日（日）に、三重県営サンアリーナ（メインアリーナ、屋外）において「伊勢市環境フェア～みんなで脱炭素社会をめざそう！～」を開催し、約10,000人に来場いただいた。

開催に当たっては、環境活動に取り組む事業所や団体、大学等の出展協力を得て、多様な体験等の企画を実施した。

2024福祉フェスティバル事業実行委員会（勤労者地域づくり等参画支援事業実行委員会）主催の「2024福祉フェスティバル 勤労者ゆとりT・I・M・E you・ゆう・遊ing」と同時開催。

2 環境講座の開催

パナソニック株式会社との連携により「親子で学ぶ！エネルギーの創・蓄・省と工作教室」を実施した。

実施日	実施場所	内容	参加者
6. 7.27	二見老人福祉センター	親子で学ぶ！エネルギーの創・蓄・省と工作教室	18組 38人

3 地球温暖化防止の啓発

市民の皆様には地球温暖化への意識を高めてもらい、一人ひとりの行動変容につなげるため、様々な手法により市民啓発を行った。

（1）イベント

実施日	イベント名	実施場所	概要
6. 4.21	アースデイ伊勢 2024	宮川ラブリバー公園	電気自動車の展示、給電PR、太陽光発電等の共同購入事業PR、地球温暖化防止啓発チラシ配布
6. 5. 3	YOKOHAMA ふれ愛まつり 2024	横浜ゴム株式会社三重工場	電気自動車の展示、給電PR、太陽光発電等の共同購入事業PR、地球温暖化防止啓発チラシ配布
6. 6.11	高柳の夜店	伊勢高柳商店街	電気自動車の展示、給電PR、太陽光発電等の共同購入事業PR、地球温暖化防止啓発チラシ配布
6.11.17	上久保自治会防災訓練	上久保公園	電気自動車の展示、給電PR
7. 2.16	電気自動車・エコドライブ啓発イベント	ミタス伊勢 催事場	電気自動車の展示、エコドライブシミュレーター体験、省エネクイズ、地球温暖化防止啓発パネル展示・チラシ配布

(2) 街頭啓発

実施日	実施場所	概要
7. 2. 3	プライスカット伊勢二見店	地球温暖化防止啓発チラシ・啓発物品の配布
7. 2. 4	ぎゅーとらラブリー藤里店	
7. 2. 5	イオンタウン伊勢ララパーク	
7. 2. 6	伊勢みそのショッピングセンター	
7. 2.10	ぎゅーとら小俣店	

(3) 広報いせ記事掲載

掲載号	タイトル	主な内容
広報いせ 5月1日号	省エネ家電でおトクにエコに	省エネ家電のメリット、みえ省エネ家電購入応援キャンペーン PR
広報いせ 6月1日号	エコな住宅で快適な生活を！	太陽光発電・蓄電池、省エネ・高効率機器、断熱窓等のメリット・補助事業 PR、三重県太陽光発電設備等共同購入事業 PR
広報いせ 2月1日号	光熱費が高くなる冬こそ省エネ！！毎日を快適に、お得に過ごしませんか？	家庭のできる省エネの取組 PR

(4) 電気バスによる啓発

三重交通株式会社が令和5年度から伊勢市コミュニティバス「おかげバス」として新たに2台導入した小型電気バスについて、市の地球温暖化防止の取組に賛同する株式会社ポケモンの協力を得て、車両内外にポケモンデザインのラッピングを施して運行し、啓発効果を高めている。伊勢市環境フェアで体験乗車を実施した。

4 エコドライブの推進

地球温暖化防止対策として、自動車から排出される二酸化炭素を減らすことが課題であり、次世代自動車の普及とともに、自動車の使用方法の対策が重要であることから、燃費向上や安全運転の効果が期待できるエコドライブの普及を図っている。

イベントでのエコドライブシミュレーター体験・パネル展示や、街頭啓発でのエコドライブ啓発チラシの配布を行った。

5 事業所脱炭素化支援補助金

脱炭素社会推進事業 (款) 4 . 衛生費 (項) 1 . 保健衛生費 (目) 1 . 保健衛生総務費

事業所の温室効果ガスの排出削減に向けた取組を促進するため、伊勢市事業所脱炭素化支援補助金制度により、中小企業者が実施する温室効果ガス排出量算定及び省エネルギー診断の受診等に要する費用の一部を補助した。

区分	5年度	6年度
交付件数	10件	14件
交付額合計	1,136,000円	1,981,000円

6 第3期伊勢市環境基本計画の改定

脱炭素社会推進事業 (款) 4 . 衛生費 (項) 1 . 保健衛生費 (目) 1 . 保健衛生総務費

市の環境の保全に関する目標、基本的方向及び配慮の指針等について定める第3期伊勢市環境基本計画及び内包する伊勢市地球温暖化防止実行計画(計画期間:令和2年度~令和11年度)について、中間年度における計画見直しを行い、令和7年3月に計画を改定した。

計画改定に当たっては、現行計画における取組の成果や課題、市民・事業者の意向を考慮するとともに、市の上位計画や関連計画との整合性を図り、国内外の環境を取り巻く情勢に対応した内容とし、地域気候変動適応計画を内包した計画とした。

7 太陽光発電設備等設置費補助金

脱炭素社会推進事業 (款) 4 . 衛生費 (項) 1 . 保健衛生費 (目) 1 . 保健衛生総務費

太陽光発電設備等設置費補助金 (款) 18 . 県支出金 (項) 2 . 県補助金 (目) 3 . 衛生費県補助金

再生可能エネルギーの利用を促進し、温室効果ガスの排出削減を図るとともに、分散型エネルギー社会の実現に資するエネルギーの地産地消を促進するため、再生可能エネルギー電力の自家消費を目的とした住宅への太陽光発電設備や定置型蓄電池の設置者に対し、補助金を交付した。

区分	交付件数	交付額合計
太陽光発電設備	18件	6,440,000円
蓄電池	16件	6,903,000円
合計	-	13,343,000円

8 市の事務事業にける地球温暖化対策

(1) 市の事業活動における脱炭素化

公共施設等の脱炭素化に向け、公共施設の整備方針や公用車の導入方針及び排出削減目標を示す「伊勢市公共施設等の脱炭素化方針」を令和6年6月に策定した。

当方針に基づき、公共施設の新設または改修等を行う際の省エネ対策及び再生可能エネルギーの導入、既存施設におけるLED照明の導入、公用車を新規導入または更新する際の電動車の導入を推進している。

また、事務活動における省エネルギー、省資源、廃棄物削減等に取り組むとともに、クールビズ等の取組及び意識啓発等を行っている。

【市役所本庁舎及び各総合支所における使用量・排出量の実績】

区分	4年度	5年度	6年度
事務用紙使用量 (千枚)	10,747	9,408	9,110
可燃ごみ排出量 (袋)	5,113	3,499	3,170
電力使用量 (kWh)	1,466,600	1,417,486	1,473,724
ガソリン使用量 (L)	85,496	84,820	83,167
軽油使用量 (L)	46,265	47,660	38,360

(2) ノーマイカーデー（エコ通勤）の実施

職員の通勤における温室効果ガス排出の削減と率先垂範を目的として、ノーマイカーデーの取組を実施した。

【取組内容】

- ・勤務場所、職種等に関わらず、全職員対象。
- ・毎月第3月曜日が属する週を「ノーマイカーウィーク」と位置づけ、期間中のエコ通勤の呼び掛け。また、この週について、水、木曜日に加えて金曜日をノー残業デーとし、エコ通勤をより一層推進。
- ・車やバイクを使わず、公共交通機関や自転車、徒歩、車の相乗りでの通勤の推奨。

(3) カーボンニュートラル研修会の開催

令和6年7月16日、カーボンニュートラルに向けた国や経済界の動きを知り、地方自治体としての取組について共通認識を深めるため、市と包括連携協定を締結するあいおいニッセイ同和損害保険株式会社の協力を得て、各所属長を対象とするカーボンニュートラル研修会を開催した。

熱中症対策

令和6年4月1日に気候変動適応法が一部改正され、市町村長が熱中症特別警戒情報に備えて指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）を指定することができることとなったため、公共施設18か所及び協定締結した民間施設2か所を指定暑熱避難施設として指定し、令和6年6月1日から運用を開始した。

墓地関係

1 市営墓地管理

市営大世古墓地、大湊墓地及び小俣若山墓地を効率的に管理するため、業務委託等を行い墓地の環境整備を行った。

(1) 管理区画数

区分	3.3㎡以下	3.3㎡超 6.6㎡以下	6.6㎡超 9.9㎡以下	9.9㎡超	計
大世古墓地	区画 934	区画 485	区画 89	区画 101	区画 1,609
大湊墓地	805	80	7	2	894
小俣若山墓地	1,235	0	0	0	1,235
計	2,974	565	96	103	3,738

令和7年3月末時点

(2) 使用状況

墓地使用料 (款) 16 . 使用料及び手数料 (項) 1 . 使用料 (目) 2 . 衛生使用料

墓地名	新規使用	返還	残数
大世古墓地	区画 6	区画 16	区画 204
大湊墓地	1	14	75
小俣若山墓地	3	14	49
小俣若山納骨堂	1	3	274
計	11	47	602

令和7年3月末時点

(3) 業務委託

墓地管理運営事業 (款) 4 . 衛生費 (項) 1 . 保健衛生費 (目) 6 . 墓地費

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
大世古墓地	市営大世古墓地管理等業務委託	埋蔵の立会い、草刈等	円 1,379,000	6. 4. 1	7. 3.31
大湊墓地	市営大湊墓地管理業務委託	埋蔵の立会い、草刈等	486,000	6. 4. 1	7. 3.31
小俣若山墓地及び納骨堂	市営小俣若山墓地管理業務委託	埋蔵の立会い、草刈等	544,289	6. 4. 1	7. 3.31
伊勢市役所環境課	伊勢市墓地管理システム運用保守業務委託	墓地管理システムの運用保守	475,200	6. 4. 1	7. 3.31
大世古墓地	石材処分業務委託	無縁墓石等の処分	90,486	6.10. 3	7. 1.31
"	無縁墓石等撤去及び改葬業務委託	無縁墓石等の撤去集積、撤去区画の埋蔵物を調査のうえ収蔵	462,000	6.12.12	7. 1.28
計	-	-	3,436,975	-	-

(4) 賃借業務

墓地管理運営事業 (款) 4 . 衛生費 (項) 1 . 保健衛生費 (目) 6 . 墓地費

賃借名	賃借期間	賃借料
墓地駐車場賃借(小俣若山墓地)	6. 4. 1 ~ 7. 3.31	240,000 円

(5) 工事

墓地管理運営事業 (款) 4 . 衛生費 (項) 1 . 保健衛生費 (目) 6 . 墓地費

施行場所	工事名	工事概要	金額	着手	完了
大世古墓地	墓地外柵修繕工事	白御影石取替、破損材取外し 新材据付修繕施工	71,500 円	6.5.20	6.5.20

(6) 墓地管理手数料収納状況

墓地管理手数料 (款) 16 . 使用料及び手数料 (項) 2 . 手数料 (目) 2 . 衛生手数料

区分	予算現額	調定額	収納済額	不納欠損額	収入未済額	収納率
現年度分	円 4,400,000	円 4,381,790	円 4,357,810	円 0	円 23,980	% 99.5
滞納繰越分		121,800	13,540	29,000	79,260	11.1
計	4,400,000	4,503,590	4,371,350	29,000	103,240	97.1

令和 7 年 3 月末時点

(7) 墓地管理手数料収納件数及び割合

区分	収納件数	割合
口座振替	件 1,384	% 42.17
窓口 納付	コンビニ等	1,266 38.57
	金融機関・市窓口	632 19.26
合計	3,282	100

2 共同墓地整備事業補助金

墓地整備事業 (款) 4 . 衛生費 (項) 1 . 保健衛生費 (目) 6 . 墓地費

自治会等が管理する共同墓地の環境改善を図るため、自治会等が行った墓地整備事業に対し補助を行った。

区分	事業費	補助金額	備考
明野共同墓地	円 2,453,132	円 817,000	フェンス等整備
北山墓地	709,500	236,000	樹木伐採
栗野町共同墓地	154,000	51,000	焼香場整備
今一色区墓地	255,000	85,000	道具保管庫
天神・小町塚墓地	2,943,820	981,000	階段整備、樹木伐採
下長屋墓地	850,300	283,000	通路整備
江墓地	275,000	91,000	樹木伐採
塚山墓地	297,000	99,000	樹木伐採
倭町共同墓地	1,388,200	462,000	フェンス等整備
計	9,325,952	3,105,000	

ごみ減量課

ごみの適正処理関係

1 ごみ排出量及び処理経費

ごみの減量・資源化のための分別収集を推進した結果、過去5年間のごみ排出量及び処理経費の推移は次のとおりであった。

(1) ごみ排出量の推移

種別	2年度	3年度	対前年度増減	4年度	対前年度増減	5年度	対前年度増減	6年度	対前年度増減
燃えるごみ	39,709 ^t	39,701 ^t	0.0%	39,231 ^t	1.2%	37,894 ^t	3.4%	36,361 ^t	4.0%
粗大ごみ	1,398	1,417	1.4	1,225	13.5	1,249	2.0	1,248	0.1
小計	41,107	41,118	0.0	40,456	1.6	39,143	3.2	37,609	3.9
資源物	6,145	6,040	1.7	5,680	6.0	5,407	4.8	5,484	1.4
缶・金属類	1,000	903	9.7	824	8.7	815	1.1	753	7.6
投棄場搬入量	166	160	3.6	148	7.5	159	7.4	138	13.2
合計	48,418	48,221	0.4	47,108	2.3	45,524	3.4	43,984	3.4

対前年度増減(%) = (当該年度 - 前年度) / 前年 × 100

資源物は、小型家電製品の収集量を含む。

(2) ごみの各平均排出量

区分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
各年度末人口 ^(人)	123,853	122,580	121,222	119,706	118,179
各年度末世帯数 ^(世帯)	55,808	55,905	56,086	56,245	56,354
総ごみ排出量 ^(t)	48,418	48,221	47,108	45,524	43,984
1日平均排出量 ^(t/日)	132.65	132.11	129.06	124.72	120.50
1日1人平均排出量 ^(g/人・日)	1,071.04	1,077.76	1,064.68	1,041.91	1,019.67
1日1世帯平均排出量 ^(g/世帯・日)	2,376.94	2,363.16	2,301.16	2,217.50	2,138.34

各年度末人口・世帯数は町別統計(住民基本台帳)を引用

(3) 処理経費の推移

区 分	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
処理経費	円 2,105,407,920	円 2,108,353,271	円 2,117,209,70	円 2,046,752,945	円 2,177,504,382
ごみ1t当りの 処理経費	43,484	43,723	44,944	44,960	49,507
1人当りの 処理経費	16,999	17,200	17,466	17,098	18,425
1世帯当りの 処理経費	37,726	37,713	37,749	36,390	38,640

処理経費は、毎年度環境省が実施している一般廃棄物処理事業実態調査で報告した数値（人件費、収集運搬・最終処分等に係る処理費、車両等購入費、ごみ処理委託料、組合分担金、各種委員会経費・補助金等に係るその他の経費を合算したもの。）

2 資源物の資源化

市内に設置した資源ステーションや資源拠点ステーション等で資源物の分別収集を行い、伊勢広域環境組合清掃工場等の中間処理施設へ搬入し、ごみの資源化を図った。

また、廃棄物投棄場に搬入されたガレキ類について、中間処理施設の民間業者へ搬入し、ごみの資源化を図った。

なお、過去3年間の委託・売却量、その他の推移は、次のとおりであった。

(1) 資源びんの委託量等の推移

区 分	4 年度		5 年度		6 年度	
	委託量	委託料	委託量	委託料	委託量	委託料
無色	kg 345,700	円 77,575	kg 342,990	円 90,549	kg 312,290	円 178,630
茶色	264,070	250,972	258,520	279,822	233,790	416,614
その他の色	147,180	305,663	138,720	196,538	127,630	240,353
計	756,950	634,210	740,230	566,909	673,710	835,597

(2) その他資源物の委託量等の推移

区 分	4 年度		5 年度		6 年度	
	委託量	委託料	委託量	委託料	委託量	委託料
プラスチック類	kg 900,710	円 525,113	kg 907,610	円 4,733,011	kg 987,485	円 6,771,062
ガラス・くずびん類	186,310	4,713,643	190,590	5,031,576	180,400	4,961,000
陶磁器類	283,100	10,899,350	293,150	11,608,740	281,160	11,443,212
乾電池	46,140	4,567,860	45,870	4,692,501	45,320	4,636,236
蛍光管	16,130	1,667,842	15,930	1,664,685	15,610	1,631,245
ガレキ類	88,270	316,481	97,600	263,384	170,730	1,163,735

プラスチック類の令和4年度はプラスチック製容器包装。令和5年度以降は、プラスチック製容器包装とプラスチック製品の合算の委託量、委託料を計上。

ガラス・くずびん類とはガラス製の食器・板ガラス・割れた資源びん等のこと。

(3) ペットボトルの売却量等の推移

区 分	4 年度		5 年度		6 年度	
	4 月～9 月	10 月～3 月	4 月～9 月	10 月～3 月	4 月～9 月	10 月～3 月
売却量 (kg)	187,160	141,090	187,930	144,050	189,280	145,260
売却額 (円)	8,085,336	13,371,138	7,931,567	4,150,256	5,413,408	4,298,624

(4) 紙類・布類等の売却量等の推移

資源ごみ売却収入 (款) 23 . 諸収入 (項) 5 . 雑入 (目) 5 . 衛生費収入

種 別		4 年度		5 年度		6 年度	
		売却量	売却額	売却量	売却額	売却量	売却額
新聞・折込チラシ	kg	468,610	円 2,495,802	kg	円 5,257,260	kg	円 5,179,406
雑誌・雑紙類		909,980	2,132,680	832,870		866,660	
段ボール		772,450	3,089,800	739,290		721,140	
飲料用紙 パック	200m 以外	22,200	75,655	22,200		21,730	
	200m	0	0	0		0	
布・衣類		171,870	17,187	165,050		163,970	
鉄くず		261	8,908	3,350	136,457	3,360	55,253
廃食用油		18,205	56,999	22,965	126,307	24,055	132,302
計		-	7,877,031	-	5,520,024	-	5,366,961

「雑誌・雑紙類」はシュレッダーを含む

(5) 資源化率の推移

年 度	4 年度	5 年度	6 年度
資源化率	22.4%	21.9%	23.6%

資源化率 = (再生資源回収団体の資源回収量 + 市の資源回収量 + 清掃工場焼却処理残渣【焼却灰】) / (再生資源回収団体の資源回収量 + ごみ総排出量) × 100

3 調査事業

(1) 燃えるごみの組成調査

市民が排出する燃えるごみの調査を行い、資源物の混入等分別の状況を把握した。

実施日 令和6年10月24日及び25日

品目	割合	品目	割合
生ごみ	26.6%	布・衣類	2.9%
燃えるごみ	35.0	プラスチック製容器包装	7.0
雑誌・雑紙類	9.6	プラスチック製品	2.0
新聞・折込チラシ	3.4	ペットボトル	0.6
飲料用紙パック	0.7	紙おむつ	6.5
禁忌品	2.6	缶・金属類	1.0
段ボール	0.9	その他	0.1
刈草・剪定枝	1.1		

(2) プラスチックの組成調査

令和6年4月から全市プラスチック類を分別回収し、プラスチック製品とプラスチック製容器包装の組成調査を実施した。

回収プラスチックの内訳	回収量 (kg)	プラスチック全体に占める割合 (%)
プラスチック製容器包装	2,131.0	93.0
プラスチック製品	109.9	4.8
不適物	50.1	2.2
プラスチック全体 (+ +)	2,291.0	100

伊勢広域環境組合

伊勢広域環境組合負担金 (ごみ) (款) 4 . 衛生費 (項) 2 . 清掃費 (目) 1 . 清掃総務費

伊勢市、玉城町、明和町、度会町の1市3町で構成する伊勢広域環境組合が、ごみの適正処理を衛生的、効率的に行えるよう負担金を支出した。また、現在のごみ処理施設においては老朽化が著しいことから、新ごみ処理施設の更新に向けて伊勢広域環境組合と連携し、取り組んでいる。

分担金内訳

区分	伊勢市分			備考
	ごみ	粗大ごみ	計	
共通経費	千円 6,059	千円 1,039	千円 7,098	平等割 10% 加入事務数割 90%
運営経費	434,911	74,404	509,315	実績割 100%
建設経費	500,610		500,610	平等割 10% 人口割 90%
公債費	111,754		111,754	元利補給金
清掃事業所負担金	3,890.2		3,890.2	
計	1,057,224.2	75,443	1,132,667.2	

○ きれいなまちづくり推進関係

きれいなまちづくり推進事業 (款) 4 . 衛生費 (項) 2 . 清掃費 (目) 1 . 清掃総務費

1 路上喫煙対策

路上喫煙パトロール等

令和2年8月1日から開始となった「路上喫煙禁止区域」について、伊勢市駅・宇治山田駅前周辺エリアと内宮周辺エリアにおいて、禁止区域内での喫煙者への指導、たばこ等ポイ捨ての清掃、周辺店舗等への聞き取り、案内用看板等の状況確認等を行うために、定期的にパトロールを実施した。また、令和6年8月1日には喫煙禁止区域で街頭啓発を実施した。

【実績】たばこポイ捨て本数 区域内 378 本、区域外 815 本

路上喫煙対策審議会

伊勢市路上喫煙対策審議会を開催し、現況の報告、路上喫煙禁止区域の課題等について、審議を行い、意見をもらった。

構成：学識経験者(1名)、公共的団体の代表者(1名)、関係団体の代表者(3名)、関係行政機関の職員(1名)

2 伊勢市環境会議(ごみ関係)

ごみの減量化・資源化の推進を目的とした以下の事業に取り組んだ。

実施期間	実施事業名	概要	備考
6. 5.25	ごみゼロ早朝清掃	5月30日の「ごみゼロの日」にちなみ、市民一人ひとりがごみ問題に対する意識を高めるため、五十鈴川河川敷・おはらい町周辺で清掃活動を実施した。	参加者 約 200 人 燃えるごみ 60 kg その他のごみ 3kg
6. 7~6. 9	MOTTAINAI(もったいない)ポスターコンクール ~「食品ロス」をなくそう!ごみをへらそう!~	物や食べ物を捨てる前に“もったいない”と思う気持ちを持ち、ごみに出す前にもう一度考える行動ができるよう、子どもたちから広く市民にメッセージを発信してもらうため、市内小中学校へ「食品ロス削減」等をテーマに作品募集を行った。伊勢市環境フェアにおいて受賞者への表彰式を実施し、入賞作品は市内商業施設等にて展示するほか、ケーブルテレビにて放送した。	受賞者 計 51 人 (応募作品数 398 作品)
6. 6~7. 3	環境出前講座 (園児対象)	保育所・幼稚園等の園児が楽しみながら環境について興味を持ってもらえるよう、環境に関する紙芝居、ごみの分別体験や着ぐるみとのふれあい等を環境出前講座として実施した。	実績 23 回

○ **廃棄物集積所設置補助金関係**

廃棄物集積所設置補助金 (款) 4 . 衛生費 (項) 2 . 清掃費 (目) 1 . 清掃総務費

燃えるごみの排出場所の集積化を促進することで、ごみ収集の効率化を図るとともに、ごみの散乱防止、市民の美化意識の高揚及び良好な生活環境を確保することを目的として、燃えるごみ集積所を設置した自治会に対し補助金を交付した。

交付状況

年 度	交付申請件数	補助金交付基数	補助金交付額
4年度	件 15	基 35	円 5,817,928
5年度	16	51	6,168,583
6年度	15	34	4,850,505

利用世帯数に応じて補助金限度額の設定をして実施した。

○ **不法投棄防止対策推進関係**

不法投棄防止対策推進事業 (款) 4 . 衛生費 (項) 2 . 清掃費 (目) 1 . 清掃総務費

1 防止対策

収集作業時におけるパトロールの実施や自治会からの要望等に基づき看板を設置する等不法投棄の未然防止に努めた。

2 通報への対応

通報を受けた場所が公共用地の場合は、投棄物を調査し、投棄者の特定を行っている。投棄者を特定できれば警察と連携して撤去を要請し、投棄者が不明の場合は看板で啓発し、一定期間を経て、更なる不法投棄を招かないように投棄物を回収した。

なお、投棄場所が私有地の場合、所有者に連絡して対応を求めた。

主な不法投棄物の回収状況

年 度	テレビ	冷蔵庫 冷凍庫	洗濯機 衣類乾燥機	エア コン	タイヤ	消火器	ガス ボンベ	金庫等
4年度	台 107	台 13	台 6	台 6	本 24	本 101	本 3	台 3
5年度	61	8	5	4	102	59	12	21
6年度	38	9	7	1	42	93	4	9

○ **廃棄物一般経費関係**

廃棄物一般経費 (款) 4 . 衛生費 (項) 2 . 清掃費 (目) 1 . 清掃総務費

伊勢市廃棄物減量等推進審議会の開催

ごみの排出状況、伊勢市ごみ処理基本計画の進捗状況の報告及びごみ減量・資源化に向けた施

策の取り組みについて審議を行い、意見をもらった。

【廃棄物減量等推進審議会】

伊勢市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例第8条の規定に基づき設置

構成：学識経験者（2名） 市民（1名） 事業者等（2名） 地域住民組織（3名）
再生資源事業者（1名） 関係行政機関（2名）

○ 再生資源回収事業奨励金関係

再生資源回収推進事業（款）4．衛生費（項）2．清掃費（目）2．資源循環推進費

ごみの減量化を促進し、資源の再生化を図るとともに、ごみに対する市民の意識を高めることを目的に、自治会・PTA等再生資源の回収事業を行う団体に対し、奨励金を交付した。

年度	登録 団体数	交付 団体数	回 収 量					奨 励 金 交 付 額
			紙 類	布 類	金 属 缶 類	計	びん	
4年度	団体 157	団体 129	kg 1,115,187	kg 25,850	kg 29,515	kg 1,170,552	本 161	円 3,512,040
5年度	149	125	1,014,083	22,845	26,367	1,063,295	169	3,190,270
6年度	143	119	949,748	23,635	25,816	999,199	125	2,997,870

1 kg 当たり 3 円、リターナブルびんについては 1 本当たり 3 円の奨励金を交付した。

○ ごみ減量化容器設置補助金関係

ごみ減量化容器設置補助金（款）4．衛生費（項）2．清掃費（目）2．資源循環推進費

生ごみの自家処理を促進し、ごみの減量化を図ることを目的に、ごみ減量化容器を購入及び設置した市民に対し補助金を交付した。

年 度	交付申請件数	補助金交付基数	補助金交付額
4年度	件 61	基 61	円 1,126,000
5年度	85	85	1,688,000
6年度	89	89	1,850,000

○ ごみ減量・資源化事業一般関係

ごみ減量・資源化事業一般経費（款）4．衛生費（項）2．清掃費（目）2．資源循環推進費

1 廃棄物減量等推進員の配置

市と市民をつなぐパイプ役として、また地域のリ・ダ - として 52 自治会より推薦された 87 名を廃棄物減量等推進員として委嘱し、ごみの分別や出し方の指導等の役割を依頼した。

2 企業広告関係

企業広告収入（款）23．諸収入（項）5．雑入（目）5．衛生費収入

新たな財源の確保及び事業経費の削減を図るため、ごみカレンダー（掲載箇所 16 枠）及び資源拠点ステーション（16 施設 24 枠）において広告主の募集を行い、企業広告を掲載した。

広告媒体	広告掲載数	収入額
ごみカレンダー	16 枠	480,000 円
資源拠点ステーション	5 施設 10 枠	113,400 円

○ MOTTAINAI 推進事業

MOTTAINAI 推進事業（款）4．衛生費（項）2．清掃費（目）2．資源循環推進費

1 3Rの推進

（1）食品ロス削減に関する取組

ア 事業者及び高等学校との連携

市内でスーパーマーケットを展開している事業者 9 社及び三重県、市民団体が構成される「減らそに！いせの食品ロス協議会」において、賞味期限・消費期限の近くなった食品の廃棄を低減させる「2024 すぐ食べるならつれてって！キャンペーン」（10 月 1 日から 11 月 8 日まで）を宇治山田商業高等学校との連携により実施し、2,679 名分の食品ロス削減につながった。

イ フードドライブの取組

伊勢市社会福祉協議会と株式会社ファミリーマートと連携して、家庭にある余剰の食品を市内 17 か所のファミリーマート提携店舗へ持ち込んでもらい、支援の必要な方へ届ける「ファミマフードライブ」に取り組み、355 kg の食品の回収を行った。

ウ 食品ロス削減マッチングサービス「タベスケ」

「減らそに！いせの食品ロス協議会」と連携し、市内店舗（協力店）の賞味・消費期限が近い食品や商品を web 上に掲載し、市民（ユーザー）とのマッチングを行う食品ロス削減マッチングサービス「もったいないやん!!～いせ×タベスケ～」を令和 5 年 2 月 1 日から開始した。協力店舗 19 店舗、ユーザー数 852 名の登録があり、タベスケにより 28.06kg の食品ロス削減につながった。

なお、「タベスケ」については、事業者において商品の掲載など運用に手間がかかること等の理由から協力店舗数が増加せず、令和 6 年度末をもって終了とした。

（2）雑がみ類の資源化に関する取組

市内の小学 4 年生を対象に、夏休みの期間を利用して雑がみの分別に挑戦する「雑がみチャレンジ」を実施した。市内の小中学校 15 校がこの取組に参加し、児童 377 名が合計 1,074 kg を分別・資源化した。また、これまで資源化できなかった紙類の資源化を推進するため、「トイレの紙さまプロジェクト」（これまで資源化できなかった紙類をトイレトーパー

にリサイクルする取組)を実施し、46,852 kgの回収を行った。

なお、希望する市民に「雑がみ回収袋」を配布して雑がみの分別を推進した。

(3) 生ごみの水切りに関する取組

市内の小学5年生を対象に、夏休みの期間を利用してごみの減量に挑戦する「ごみゼロチャレンジ」を実施した。市内の小学校10校がこの取組に参加し、児童227名が生ごみの水切り等に取り組んだ。

また、環境フェア、高柳の夜店等の各種イベントにおいて、動画の放映やチラシの配布、生ごみ処理機の展示・実演による啓発を行った。

(4) マイボトル・マイカップ運動

ペットボトルやプラスチック製カップ等使い捨てプラスチックごみの発生抑制を推進していくため、マイボトル・マイカップ運動を展開し、企業訪問やホームページでの取り組みの紹介により、令和6年度はマイボトル協力店1事業所、マイボトル推進事業者1事業所の登録を得た。

(5) 草・木類等再資源化事業

ごみの減量・資源化を図るため、自治会等の活動により発生した刈草、木等の一般廃棄物を市内民間事業者へ搬入し、再資源化した。

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
伊勢市 内地	草・木類等再資源化業務委託	引取量 草 13.61 t 生木(枝葉、幹) 152.69 m ³ 生木(根) 3.68 m ³	円 2,246,046 【単価契約】 草 45,000 円/t(税抜) 木くず 8,600 円/m ³ (税抜) 生木(枝葉、幹) 9,000 円/m ³ (税抜) 生木(根、株) 15,000 円/m ³ (税抜)	6. 6.14	7. 3.31

2 啓発・教育の推進

(1) 啓発事業

ア 広報いせ及びケーブルテレビ「伊勢市行政チャンネル」による啓発

「MOTTAINAI～3R+リスペクト～」をタイトルとしたMOTTAINAI推進事業の啓発(食品ロスの削減等)を中心に、その時期に応じた内容の記事を広報に掲載し、ごみの減量・分別の啓発に努めた。

また、ケーブルテレビ行政放送(おしらせ番組)でも同様の啓発に努めた。

イ キャラクターを使った啓発

皇學館大学の学生と協働で作成した「ごみ分別PRキャラクター(かもしかのごみバスターズ)」を幼稚園・保育園への環境出前講座及び食品ロス削減キャンペーン等の啓発活動に出演させ、効果的なPRを図った。

ウ SNS を使った啓発

広く市民に情報を促進するツールとして、SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）を活用している。

市民の利便性を向上し、ごみの適正分別・適正排出の促進に繋げるため、令和6年8月1日からごみのカレンダーや分別検索機能のほか、ごみに関する情報をお知らせする通知機能、多言語対応機能等を備えたごみ分別アプリ「さんあ～る」の運用を開始した。

SNS 一覧	登録数	内容
ごみ分別アプリ 「さんあ～る」	3,841 人	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ分別カレンダー表示 ・ごみ分別一覧表（検索機能） ・収集日アラート配信 ・インフォメーションの配信 ・ごみに関するクイズの配信
LINE	33,347 人 うちごみ分別・収集情報 7,839 人	<ul style="list-style-type: none"> ・AI チャットボット ・有料粗大ごみ回収の申請
Facebook	48 人	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの減量に関する情報や、ごみ減量課の取組、かもしかのごみバスターズの着ぐるみが参加するイベント情報などを配信
Instagram	110 人	

エ ワークショップの開催

市民を対象にワークショップ（ミニ講座）を開催し、再利用品を利用した体験学習や食ロス削減につなげる料理教室などごみの減量・資源化に対する意識の向上を図った。

・親子でごみ減量大作戦

実施日 令和6年7月25日（1回目） 参加者 4組9人
令和6年7月26日（2回目） 4組10人

・親子でアイデアクッキング

実施日 令和6年12月14日 参加者 5組10人

オ ごみ減量フェスティバルの開催

実施日 令和6年8月3日 参加者 約100人

実施内容 講演会、ミニ・キエー口作成体験コーナー、家具リユース無料譲渡抽選会、分別ゲームコーナー等を実施

（2）ごみの分別等についての出前授業等

希望する学校・団体を対象に伊勢市のごみの現状及びごみの分け方・出し方について、出前授業等を実施した。（開催回数 延べ32回、参加人員 延べ728人）

○ 再資源分別回収関係

再資源分別回収事業（款）4．衛生費（項）2．清掃費（目）3．じん芥処理費

1 資源物の収集状況

缶・金属類、資源びん、紙・布類（新聞・折込チラシ、雑誌・雑紙類、段ボール、飲料用紙パック、布・衣類）、ペットボトル、プラスチック類、ガラス・くずびん類、陶磁器類について、市内を22地区（旧伊勢市地区16、二見町地区2、小俣町地区2、御園町地区2）に分け、1,002か所の資源ステーションを設置し、プラスチック類は週1回、缶・金属類、資源びん、紙・布類、ペットボトル、ガラス・くずびん類、陶磁器類は月1回収集を行った。

また、乾電池、蛍光管については、資源拠点ステーションや市内公共施設の一部111か所で適時収集を行った。

なお、令和6年4月から全市でプラスチック製品をプラスチック製容器包装と合わせて分別回収した。

2 委託関係

資源物回収袋の洗浄及び補修業務を伊勢市シルバー人材センター、旧伊勢市地区の缶・金属類、資源びん、紙・布類、プラスチック類、ペットボトル、二見町地区の缶・金属類除く資源物、小俣町地区の缶・金属類除く資源物、御園町地区の燃えるごみ及び資源物の収集運搬業務を一般競争入札により民間業者に委託した。

また、旧伊勢市地区の燃えるごみ、ガラス・くずびん類及び陶磁器類、缶・金属類、二見町地区の燃えるごみ及び缶・金属類、小俣町地区の燃えるごみ及び缶・金属類の収集運搬業務を、下水道の整備等に伴う一般廃棄物処理業等の合理化に関する特別措置法により定めた各地区の合理化事業計画（旧伊勢市地区、小俣町地区）に基づき、旧伊勢市地区の4業者、小俣町地区の2業者に委託した。

さらに、市内で発生する大型製品プラスチックを再資源化するため、選別処理を委託した。

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
伊勢市内	資源物回収袋洗浄等業務委託	回収袋の洗浄及び補修業務委託一式	円 13,704,080 【単価契約】 1,034～1,395 円/人 事務費11%	6.4.1	7.3.31
伊勢市内 (旧伊勢市地区)	一般廃棄物収集運搬 (その1)業務委託	一般廃棄物収集運搬業務委託(燃えるごみ)一式	57,365,000	6.4.1	7.3.31
〃	一般廃棄物収集運搬 (その2)業務委託	一般廃棄物収集運搬業務委託(燃えるごみ)一式	30,690,000	6.4.1	7.3.31

伊勢市内 (旧伊勢市 地区及び二見 町地区)	一般廃棄物収集運搬 (その3)業務委託	一般廃棄物収集運搬業務 委託(燃えるごみ、缶・金 属類)一式	円 106,150,000	6.4.1	7.3.31
小俣町 内	一般廃棄物収集運搬 (その4)業務委託	一般廃棄物収集運搬業務 委託(燃えるごみ、缶・金 属類)一式	52,727,400	6.4.1	7.3.31
伊勢市内 (旧伊勢市 地区)	一般廃棄物収集運搬 (その7)業務委託	一般廃棄物収集運搬業務 委託(燃えるごみ、ガラ ス・くずびん類、陶磁器類) 一式	58,300,000	6.4.1	7.3.31
小俣町 内	一般廃棄物収集運搬 (その8)業務委託	一般廃棄物収集運搬業務 委託(燃えるごみ、缶・金 属類)一式	14,322,000	6.4.1	7.3.31
二見町 内	一般廃棄物収集運搬業 務委託(缶・金属類を 除く資源物)(二見町地 区)	一般廃棄物収集運搬業務 委託(缶・金属類を除く資 源物)一式	14,652,000	6.4.1	7.3.31
伊勢市内 (旧伊勢市 地区)	一般廃棄物収集運搬業 務委託(資源びん)(旧 伊勢市地区)	一般廃棄物収集運搬業務 委託(資源びん)一式	48,052,000	6.4.1	7.3.31
"	一般廃棄物収集運搬業 務委託(紙・布類)(旧 伊勢市地区)	一般廃棄物収集運搬業務 委託(紙・布類)一式	59,400,000	6.4.1	7.3.31
"	一般廃棄物収集運搬業 務委託(プラスチック 類)(旧伊勢市地区)	一般廃棄物収集運搬業務 委託(プラスチック類) 一式	93,016,800	6.4.1	7.3.31
"	一般廃棄物収集運搬業 務委託(ペットボトル) (旧伊勢市地区)	一般廃棄物収集運搬業務 委託(ペットボトル)一式	35,199,600	6.4.1	7.3.31
"	一般廃棄物収集運搬業 務委託(缶・金属類)(旧 伊勢市地区)	一般廃棄物収集運搬業務 委託(缶・金属類)一式	72,600,000	6.4.1	7.3.31

御 園 町 地 内	一般廃棄物収集運搬業 務委託（御園町地区）	一般廃棄物収集運搬業務 委託（燃えるごみ、缶・金 属類、資源びん、紙・布類、 プラスチック類、ペットボ トル、ガラス・くずびん類、 陶磁器類）一式	円 30,728,600	6. 4. 1	7. 3.31
小 俣 町 地 内	一般廃棄物収集運搬業 務委託（缶・金属類を 除く資源物）（小俣町地 区）	一般廃棄物収集運搬業務 委託（資源びん、紙・布類、 プラスチック類、ペットボ トル、ガラス・くずびん類、 陶磁器類）一式	20,844,000	6. 4. 1	7. 3.31
伊 勢 市 地 内	大型製品プラスチック 処理委託	市内で発生する大型プラ スチックの処理委託	56,705 【単価契約】 5 円/kg（税抜）	6. 9. 4	7. 3.31
計	16 件	-	707,808,185	-	-

3 資源拠点ステーションの開設状況

資源物の収集効率の向上を図るため、資源拠点ステーションを平成 14 年度から順次開設している。開設状況としては、令和 7 年 3 月末現在で 19 か所（伊勢中央・宇治・船江・城田・中島・佐八・明倫・神社・厚生・早修・北浜・宮本・沼木・大湊・いせトピア・二見・小俣・御園及び明野）を開設し、支所での管理のほか、公益社団法人伊勢市シルバー人材センター、地元自治会等にステーションでの受付等の業務を委託した。

（1）委託関係

施行場所	委 託 名	委 託 概 要	金 額	着 手	完 了
船江4丁目 地内ほか	資源拠点ステーション受 付等業務委託	資源物受付及び搬入 車両誘導等業務一式	円 14,763,771 【単価契約】 1,034～1,395 円/人 事務費 11%	6. 4. 1	7. 3.31
宮後2丁目 地 内	伊勢中央資源拠点ステー ション受付等業務委託	資源物受付及び搬入 車両誘導等業務一式	2,090,000	6. 4. 1	7. 3.31
宇治浦田 2 丁 目 地 内	宇治資源拠点ステーショ ン受付等業務委託	資源物受付及び搬入 車両誘導等業務一式	730,000	6. 4. 1	7. 3.31
中 須 町 地 内	城田資源拠点ステーショ ン受付等業務委託	資源物受付及び搬入 車両誘導等業務一式	730,000	6. 4. 1	7. 3.31
計	4 件	-	18,313,771	-	-

合計は、各行の最上段を合算

(2) 工事関係

杜の宮資源ステーションの扉の開閉の不具合があり、風害で扉が外れることを防ぐため修繕工事を行った。

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
伊勢市 通町地内	杜の宮資源ステーション修繕工事	正面パネル・扉左・扉右取替	円 308,000	6. 6.24	6. 9.11

4 ペットボトルキャップの回収

ペットボトルのキャップをプラスチック類として分別回収しているが、市民がペットボトルキャップ回収・寄附活動運動に協力していただけるよう、市内の資源拠点ステーションや各総合支所生活福祉課等にペットボトルキャップ回収容器を設置した。

回収状況

年度	重さ	個数(約)	ポリオワクチン
	kg	個	人分
4年度	12,676.0	5,450,680	6,338.0
5年度	11,559.0	4,970,370	5,778.0
6年度	12,489.0	5,370,270	6,244.5

○ じん芥収集一般関係

じん芥収集一般事業 (款) 4 . 衛生費 (項) 2 . 清掃費 (目) 2 . じん芥処理費

1 一般廃棄物収集関係

市内の一般廃棄物(燃えるごみ、粗大ごみ、資源物及び小動物の死体)の収集を直営及び民間委託により行っている。収集した一般廃棄物については、伊勢市、玉城町、明和町、度会町の4市町で構成する伊勢広域環境組合、古紙業者及び民間業者へ搬入し処理を行った。

また、令和6年度においては、ハッピーマンデーや振替休日、年末年始に臨時収集を行った。

(1) 収集体制

ア 収集車両

所管している車両 20台 単位:台

3tパッカー	2tパッカー	2tプレス	2tダンプ
2	2	2	5
2tパワーリフト	2tトラック	軽四ダンプ	軽四トラック
2	1	4	2

イ 収集人員

一般廃棄物の収集を職員24名の人員で行った。

2 収集状況

燃えるごみの収集については、市内全域を2地区(月・木曜日地区、火・金曜日地区)に分け、各地区において週2回収集を業務委託により行った。有料収集については、戸別に粗大ごみの収

集を行った。町内一斉粗大ごみ収集については、市内各自治会（区）の要請により自治会毎に年1回、業務委託及び直営により収集を行った。

早朝清掃、ボランティア清掃等に併い発生するごみについては、随時収集を行った。

(1) 委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
伊勢市内 地	町内一斉粗大ごみ 収集運搬（その1） 業務委託	町内一斉粗大ごみ収集運 搬業務委託（可燃系粗大ご み）一式	円 14,422,309 【単価契約】 348,000 円/日（税抜） 12t 超えた収集 運搬単価 29,000 円/t	6.4.1	7.3.31
〃	町内一斉粗大ごみ 収集運搬（その2） 業務委託	町内一斉粗大ごみ収集運 搬業務委託（非圧縮粗大ご み）一式	7,496,346 【単価契約】 189,000 円/日（税抜） 3t 超えた収集 運搬単価 1,000 円/t	6.4.1	7.3.31
〃	町内一斉粗大ごみ 収集運搬（その4） 業務委託	町内一斉粗大ごみ収集運 搬業務委託（自転車）一式	6,615,400 【単価契約】 165,000 円/日（税抜） 100台超えた収集 運搬単価 400 円/台	6.4.1	7.3.31
計	3件	-	28,534,055		

3 一般廃棄物処理手数料

じん芥収集手数料（款）16．使用料及び手数料（項）2．手数料（目）2．衛生手数料

(1) 有料収集、小動物の死体の処理

粗大ごみ等の有料収集やペットとして飼われていた小動物の死体の収集について、手数料を徴収した。

区分	手数料	
	件数	金額
粗大ごみ等	697件	2,696,000円
小動物の死体	37	39,470
合計	734	2,735,470

(2) 天災等特別な事由により発生した一般廃棄物の処理

火災及び風害被災者の収集については、一般廃棄物処理手数料の免除を行った。

区分	火災被害者	風害被害者	計
件数	9	0	9

4 伊勢市ふれあい収集事業

一人暮らしで一定以上の介護認定を受けている高齢者や身体が不自由な方等、燃えるごみや資源物を自ら集積所等まで出すことが困難な家庭に対し、燃えるごみ及び資源物の戸別収集を行う、

ふれあい収集事業を実施した。(収集回数 52 回、収集量 5,720kg)

利用希望者の申請をもとに、9 件の実施を決定した。

令和 7 年 3 月末現在において、27 件の収集を実施した。

5 廃棄物投棄場管理事業

投棄場使用料(款)16・使用料及び手数料(項)1・使用料(目)2・衛生使用料

(1) 搬入状況

市民自己搬入分と公共関係搬入分として下記の搬入状況となった。

区分	伊 勢			小 俣			計		
	車数	搬入量	使用料	車数	搬入量	使用料	車数	搬入量	使用料
市民自己搬入分	車 164	kg 55,790	円 157,610	車 180	kg 56,750	円 154,120	車 344	kg 112,540	円 311,730
公共関係搬入分	0	0	-	27	25,380	-	27	25,380	-
計	164	55,790	157,610	207	82,130	154,120	371	137,920	311,730

(2) 委託関係

埋立廃棄物の減量・資源化を推進し、廃棄物投棄場を適正管理するため、搬入されたガレキ类等(ガレキ類、アスファルト類、瓦類、陶器類、レンガ、石類)の再資源化業務委託、廃棄物投棄場の地下水等の水質調査を行った。

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
伊勢市内	ガレキ类等再資源化業務委託	引取量 ガレキ類 (コンクリート(無筋)) 5.50 t ガレキ類 (コンクリート(有筋)) 116.50 t 瓦類(色無し、色有り) 43.68 t 陶器類 (タイル、陶器くず) 1.72 t レンガ 3.33 t	円 1,163,735 【単価契約】 ガレキ類 (コンクリート(無筋)) 1,100 円/t(税抜) ガレキ類 (コンクリート(有筋)) 1,500 円/t(税抜) アスファルト類 1,100 円/t(税抜) 瓦類 (色無し、色有り) 18,000 円/t 税抜) 陶器類 (タイル、陶器くず) 18,000 円/t 税抜) レンガ 18,000 円/t 税抜) 石類 18,000 円/t 税抜)	6. 6. 6	7. 3.31
〃	伊勢廃棄物投棄場ほか地下水等水質調査	10 か所	1,705,000	6. 6.19	6. 8.30
計	2 件	-	2,868,735	-	-

合計は、各行の最上段を合算

(3) 工事関係

小俣廃棄物投棄場を適正に維持管理するため、設備の予防対策及び修繕を行った。

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
小俣町新村 地内	(注1) 小俣廃棄物投棄場浸出水処理施設 制御盤 PLC 更新工事	PLC 更新 4 組	円 5,500,000 【契約額】 5,500,000 [令和5年度] 0 [令和6年度] 5,500,000	5. 9. 1	6. 6. 7
"	(注2) 小俣廃棄物投棄場浸出水処理施設 第一中和槽攪拌機修繕工事	攪拌機修繕一式	1,155,000	6. 7. 31	6.12.27
"	(注2) 小俣廃棄物投棄場浸出水処理施設 ばっ気ブロワ修繕工事	ばっ気ブロワ 修繕 1 台	825,000	6.11.20	7. 3. 19
"	(注2) 小俣廃棄物投棄場浸出水処理施設 外構工事	外構工事一式	1,232,000	7. 2. 17	7. 3. 14
計	4 件	-	8,712,000	-	-

(注1) 維持課施行、令和5年度から繰越

(注2) 維持課施行